

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

< 第10週 >

インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.7-11

< A型肝炎 >

2014年の報告数は第3週以降急増し、3月13日までは177例で、過去3年のそれぞれの年間報告数を超えていた



病原体情報  
P.12-14

感染性胃腸炎関連ウイルス 2013/14シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報  
P.15-23

ウガンダにおける髄膜炎菌性髄膜炎の発生状況について / 鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について / 世界におけるインフルエンザの流行状況について / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について



感染症の話  
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(10週)  
P.25-31



10週のデータ  
P.32-45



# 発生動向総覧

< 第10週コメント > 3月12日集計分

## 全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

### 1類感染症

報告なし

### 2類感染症

結核367例

### 3類感染症

細菌性赤痢3例 菌種: *S. flexneri*(B群)3例\_\_感染地域: 愛知県1例、インド1例、ベトナム/カンボジア1例

腸管出血性大腸菌感染症5例(有症者4例、うちHUSなし)

感染地域: 国内5例

国内の感染地域: 宮城県1例、長野県1例、兵庫県1例、宮崎県1例、不明1例

年齢群: 10代(1例)、20代(1例)、40代(2例)、70代(1例)

血清型・毒素型: O26 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、O157 VT不明(1例)、その他・不明(2例)

累積報告数: 62例(有症者42例、うちHUS 3例、死亡なし)

腸チフス2例 感染地域: 愛知県1例、インドネシア1例

### 4類感染症

E型肝炎3例 感染地域(感染源): 北海道1例(不明)、茨城県1例(不明)、東京都1例(不明)

A型肝炎48例 感染地域: 鹿児島県10例、広島県5例、福岡県5例、東京都4例、愛媛県3例、宮崎県3例、宮城県2例、長野県2例、静岡県2例、兵庫県2例、青森県1例、神奈川県1例、愛知県1例、京都府1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)4例、米国1例

重症熱性血小板減少症候群1例

感染地域: 宮崎県

年齢群: 60代

ブルセラ症1例 感染地域: 中国\_\_感染源: 飼育家畜(羊等)

ボツリヌス症1例 病型不明\_\_感染地域: 宮崎県\_\_感染源: 不明

レジオネラ症14例(肺炎型13例、無症状病原体保有者1例)

感染地域: 富山県2例、北海道1例、埼玉県1例、神奈川県1例、長野県1例、岐阜県1例、兵庫県1例、岡山県1例、広島県1例、愛媛県1例、佐賀県1例、長崎県1例、大分県1例

年齢群: 60代(5例)、70代(3例、うち1例死亡)、80代(6例、うち2例死亡)

5類感染症

- アメーバ赤痢10例(腸管アメーバ症9例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)  
 感染地域: 東京都3例、大阪府2例、埼玉県1例、国内(都道府県不明)2例、国外(国不明)1例、国内・国外不明1例  
 感染経路: 性的接触3例(異性間2例、異性間・同性間不明1例)、経口感染3例、不明4例
- ウイルス性肝炎2例 B型2例\_\_感染経路: 性的接触(異性間・同性間不明)1例、不明1例
- 急性脳炎8例 インフルエンザウイルスA型1例\_\_年齢群: 60代  
 インフルエンザウイルスB型2例\_\_年齢群: 2歳(1例)、10代(1例)  
 インフルエンザウイルス型不明1例\_\_年齢群: 70代  
 単純ヘルペスウイルス1例\_\_年齢群: 80代  
 病原体不明3例\_\_年齢群: 4歳(1例)、7歳(1例)、10代(1例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病2例  
 孤発性プリオン病古典型2例
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例  
 年齢群: 60代(1例)、70代(1例)、80代(2例)
- 後天性免疫不全症候群23例( AIDS 5例、無症候16例、その他2例)  
 感染地域: 国内22例、国内・国外不明1例  
 感染経路: 性的接触21例(異性間2例、同性間18例、異性/同性間1例)、不明2例
- ジアルジア症1例 感染地域: 石川県
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症3例(菌検出検体: 血液3例)  
 年齢群: 4歳(1例)、70代(1例)、90代(1例、死亡)
- 侵襲性髄膜炎菌感染症1例(菌検出検体: 血液)  
 感染地域: 国内(都道府県不明)  
 年齢群: 80代(死亡)
- 侵襲性肺炎球菌感染症20例(菌検出検体: 血液15例、血液・髄液1例、髄液4例)  
 年齢群: 0歳(1例)、1歳(2例)、30代(2例)、40代(1例)、50代(2例、うち1例死亡)、60代(3例、うち1例死亡)、70代(3例、うち1例死亡)、80代(4例)、90代(2例、うち1例死亡)
- 梅毒14例(早期顕症I期2例、早期顕症II期4例、晩期顕症1例、無症候7例)
- 破傷風1例 年齢群: 60代
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例  
 遺伝子型: 不明\_\_菌検出検体: 血液
- 風しん6例(検査診断例5例、臨床診断例1例)  
 感染地域: 東京都2例、岐阜県1例、広島県1例、国内(都道府県不明)2例  
 年齢群: 5～9歳(1例)、20～24歳(1例)、35～39歳(1例)、40代(2例)、50代(1例)  
 累積報告数: 94例(検査診断例65例、臨床診断例29例)
- 麻しん23例〔麻しん(検査診断例12例、臨床診断例10例)、修飾麻しん1例〕  
 感染地域: 静岡県5例、東京都4例、神奈川県3例、千葉県1例、愛

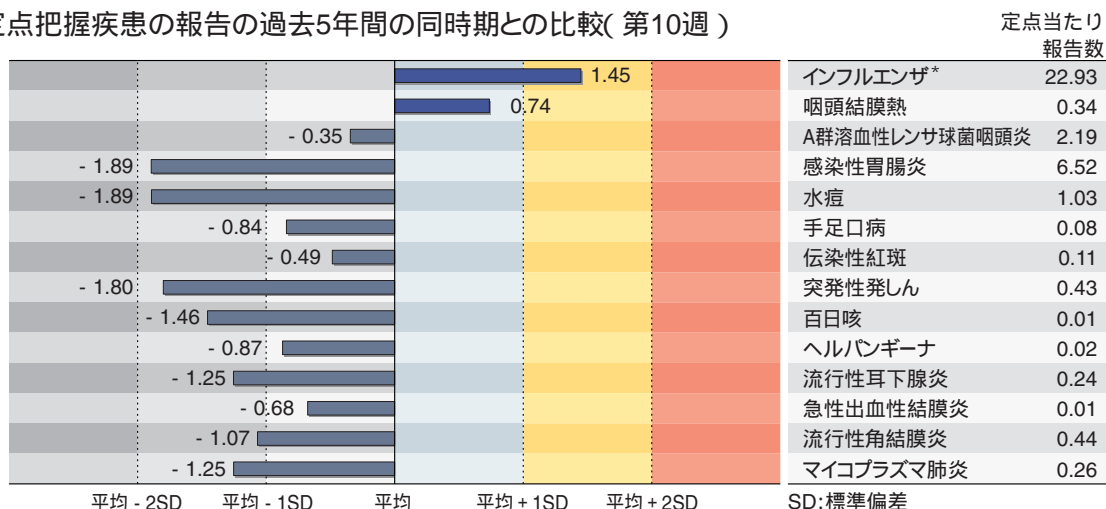
知県1例、国内(都道府県不明)4例、フィリピン3例、インドネシア1例、国内・国外不明1例  
年齢群: 0歳(3例) 1歳(2例) 2歳(1例) 5～9歳(3例) 20～24歳(1例) 25～29歳(2例) 30～34歳(6例) 35～39歳(3例) 40代(1例) 50代(1例)  
累積報告数: 172例〔麻しん(検査診断例131例、臨床診断例27例) 修飾麻しん14例〕

(補) 2013年第10週から2014年第9週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎2例〔感染地域(感染源): 神奈川県1例(不明) 長野県1例(不明)〕、急性脳炎5例〔ノロウイルス1例\_\_年齢群: 4歳 . インフルエンザウイルスA型1例\_\_年齢群: 30代 . インフルエンザウイルスB型3例\_\_年齢群: 6歳(1例 . 死亡) 10代(1例) 60代(1例)〕などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第10週 )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。( \*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

### インフルエンザ

定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県( 38.99 )、福井県( 38.94 )、岩手県( 37.86 )である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は615例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳( 36例 )、1～9歳( 220例 )、10代( 45例 )、20代( 7例 )、30代( 17例 )、40代( 19例 )、50代( 26例 )、60代( 54例 )、70代( 91例 )、80歳以上( 100例 )であった。

#### 小児科定点報告疾患( 主なもの )

RSウイルス感染症の報告数は874例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県( 3.00 )、石川県( 1.17 )、鹿児島県( 1.13 )である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県( 7.07 )、新潟県( 5.44 )、富山県( 4.83 )である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県( 15.97 )、宮崎県( 14.53 )、山形県( 14.20 )である。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県( 4.00 )、福井県( 2.77 )、沖縄県( 2.50 )である。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県( 0.78 )、熊本県( 0.60 )、福岡県( 0.44 )である。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県( 0.12 )、長崎県( 0.07 )、鳥取県( 0.05 )である。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県( 0.17 )、滋賀県( 0.16 )、徳島県( 0.13 )である。

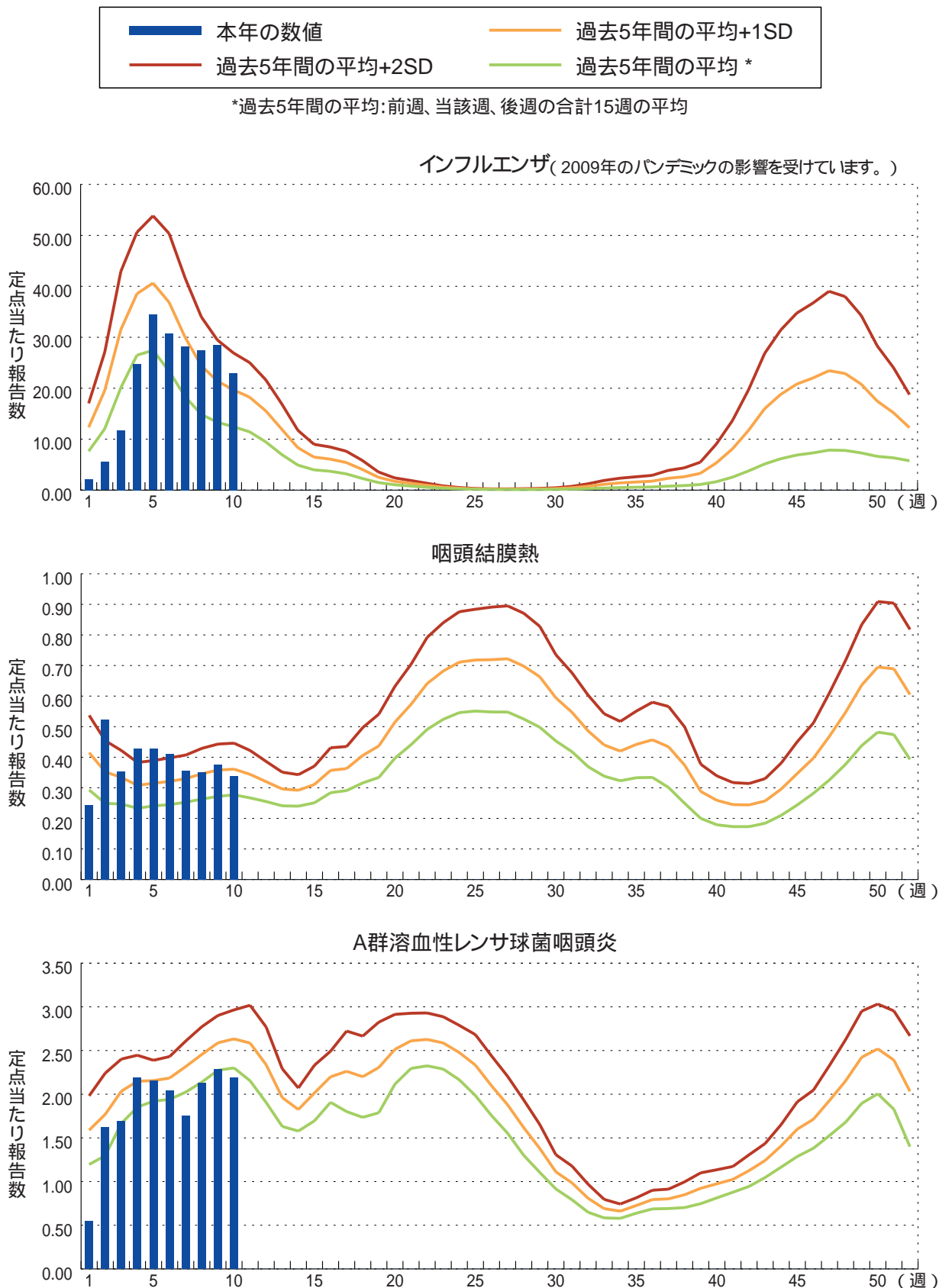
#### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は富山県( 1.60 )、青森県( 1.17 )、福島県( 1.14 )である。

感染性胃腸炎( ロタウイルスに限る )の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では31都道府県から80例報告があり、年齢別では0歳( 13例 )、1～4歳( 51例 )、5～9歳( 11例 )、10代( 1例 )、40代( 1例 )、50代( 1例 )、70歳以上( 2例 )であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2014年第10週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



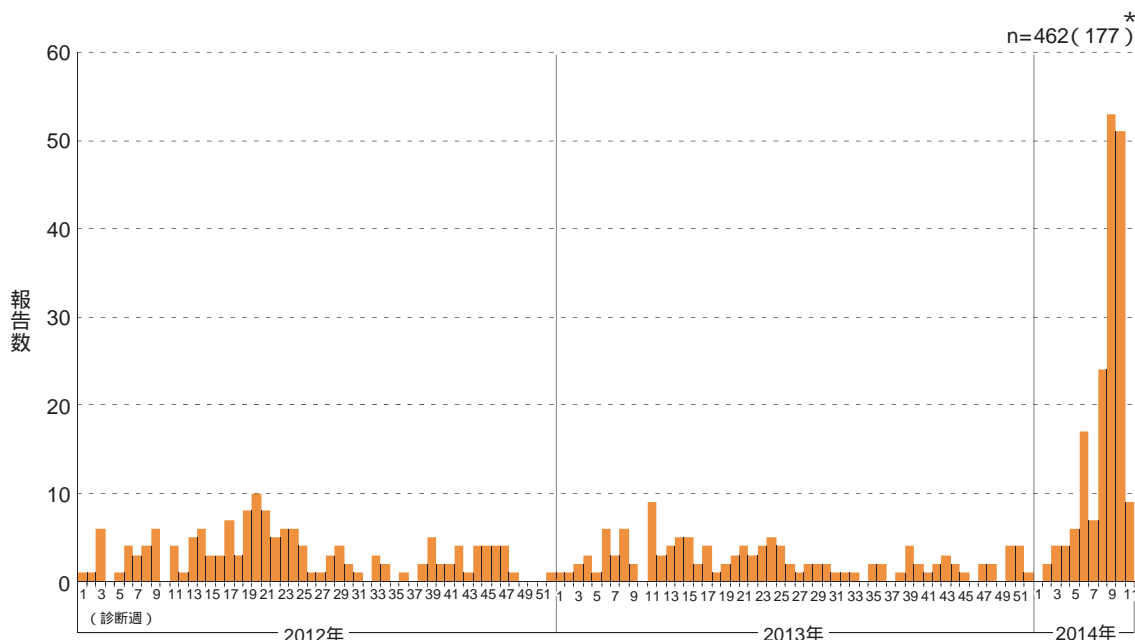


# 注目すべき感染症

## A型肝炎 (2014年3月13日現在)

2014年のA型肝炎の報告数は、第3週以降急増している( IDWR感染症週報2014年第7号参照)。3月13日までは177例で、過去3年のそれぞれの年間報告数( 2011年176例、2012年157例、2013年128例 )を超えていた( 図1 )。報告は28都府県から行われ、10例以上の集積は鹿児島県

図1. A型肝炎の週別報告数( 2012年1月2日～2014年3月13日 )



\*2012年1月2日～2014年3月13日までに診断された症例の報告数  
( 2013年12月30日～2014年3月13日までに診断された症例の報告数 )

( 21例 )、大阪府( 20例 )、福岡県( 20例 )、宮城県( 15例 )、広島県( 14例 )、宮崎県( 10例 )で認められた。直近( 2月17日～3月13日 )の都道府県別報告数の分布( 図2 )から、流行は東北から西日本に移っている。なお、図1および図2は週別の表示であり、第11週分については3月13日現在の途中集計である。

3月13日までに報告された2014年の177例の基本情報を表に示した。年齢中央値は52歳( 範囲: 0～93歳 )で、年齢階級別では60～69歳が47例( 27% )と最も多く、次いで50～59歳が38例( 21% )であった。性別は男性が99例( 56% )、女性が78例( 44% )で、国内が推定または確定感染地域として報告された症例が163例( 92% )であった。国外が推定感染地域として報告された症例は13例( カンボジア、パキスタン、フィリピン各2例、インドネシア、エチオピア、韓国、カンボジアまたはタイ、タイ、米国、モロッコ各1例 )であった。1例は感染地域不明であった。劇症肝炎の報告が1例あり、死亡例の報告はなかった。感染経路は、経口感染が推定された149例( 84% )のうち、24例( 16% )で生カキ、2例( 1% )で生ホタテ、8例( 5% )で刺身を喫食したとの記載があった。診断方法は、177例中175例( 99% )が血清IgM抗体検査によるもので、2例( 1% )はPCR法によるウイルス検出、19例( 11% )では血清IgM抗体検査およびPCR法によるウイルス検出が行われた。遺伝子型別は、感染症発生動向調査( 3月13日現在 )および病原微生物検出情報( 3月14日現在 )の情報を合わせると38例に行われていることが判明した。内訳はIAが21例、IIIAが

図2. A型肝炎の都道府県別報告数の週別分布( 2014年2月17日 ~ 3月13日まで )

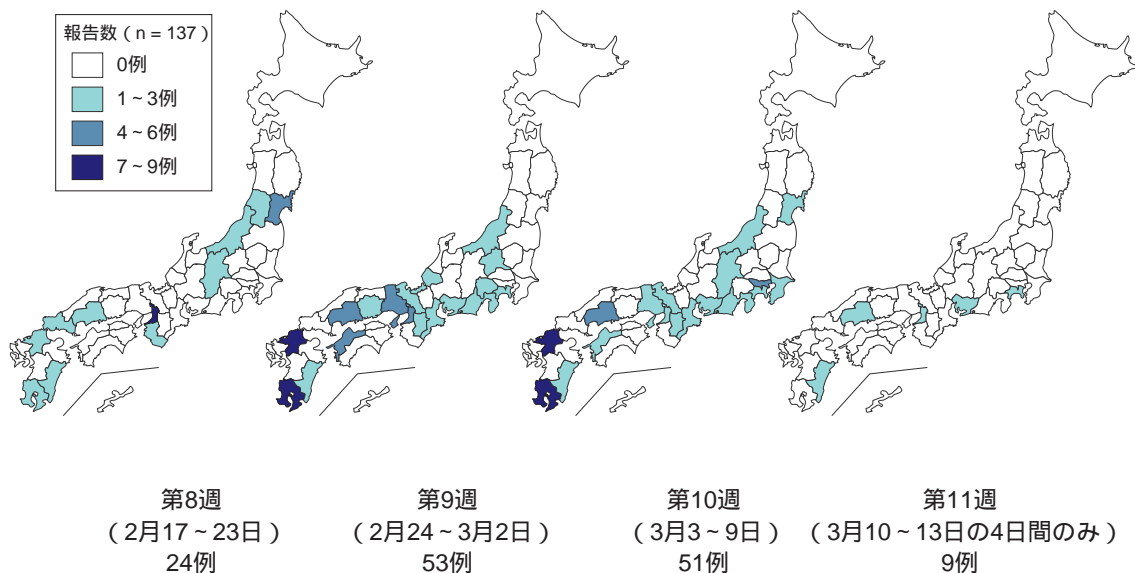


表. A型肝炎報告例の属性・感染経路・診断( 2014年3月13日現在 )

報告数	177例
性別	男性 99/177( 56% ) \ 女性 78/177( 44% )
年齢 ( 中央値52歳 )	0 ~ 9歳 7/177( 4% ) \ 10 ~ 19歳 6/177( 3% ) \ 20 ~ 29歳 13/177( 7% ) \ 30 ~ 39歳 24/177( 14% ) \ 40 ~ 49歳 29/177( 16% ) \ 50 ~ 59歳 38/177( 21% ) \ 60 ~ 69歳 47/177( 27% ) \ 70 ~ 79歳 10/177( 6% ) \ 80 ~ 89歳 2/177( 1% ) \ 90 ~ 99歳 1/177( 1% )
感染経路	経口感染 149/177( 84% ) 〔うち、生カキ喫食歴あり 24/149( 16% ) \ 生ホタテ喫食歴あり 2/149( 1% ) \ 刺身喫食歴あり 8/149( 5% ) 〕 家族内感染疑い 2/177( 1% ) \ 不明 26/177( 15% )
診断方法 ( 重複あり )	血清IgM抗体検査 175/177( 99% ) \ PCR法検査によるウイルス検出 21/177( 12% )
遺伝子型	A 21/177( 12% ) \ B 2/177( 1% ) \ A 15/177( 8% ) \ 検査中または不明 139/177( 79% )

感染症発生動向調査( 3月13日現在 )および病原微生物検出情報( 3月14日現在 )の情報より



15例、IBが2例であった。IAは大阪府9例、福岡県5例、宮城県、和歌山県各2例、埼玉県、新潟県、山口県各1例、IIIAは宮城県9例、山形県3例、東京都、大阪府、福岡県各1例、IBは東京都2例から報告された。

A型肝炎はA型肝炎ウイルス(HAV)による疾患で、一過性の急性肝炎をきたす。2～7週間の潜伏期間ののち、発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心・嘔吐、黄疸などの症状を起こす。特異的治療はなく、治療法は安静や対症療法が中心であるが、多くは1～2カ月の経過で回復し慢性化しない。まれに劇症化(0.1%)して死亡することがある。治癒後には強い免疫が残される。小児では不顕性感染が80～95%と多いため、時に無症状のまま、集団発生の感染源となることもある。一方、成人では顕性感染が75～90%と多い。通常、年齢が上がるに従い、重症度も上昇し、A型肝炎の症例全体の致死率は0.1%以下であるが、50歳以上では2.7%に達する。2003年に実施された血清疫学調査の抗A型肝炎ウイルス抗体保有率から推測すると、現在の55歳未満のほとんど全員が免疫を持っていないと考えられる。したがって、今後急速な高齢化が予測されるわが国では、A型肝炎の症例数および重症例の増加が懸念される(参考情報1)。HAVは糞便中に排泄され糞口感染によって伝播する。国内の感染経路としては、魚介類の生食などによる経口感染や、性的接触などが報告されている。

A型肝炎は潜伏期が長いことから、聞き取りによる食材などの感染源についての調査は非常に困難である。2014年に入ってから例年を超える報告数の増加に対して、現時点で広域に分布する患者発生を共通の感染源として説明しうる情報は収集出来ていないが、広域散発の集団発生の可能性も含めて感染源の共通性を検討する必要がある。我が国でA型肝炎の診断は、ほとんどの場合血清IgM抗体検査が行われているが、感染源の共通性の検討には、ウイルス学的検査による分子疫学的手法を用いた方法による確認が非常に有用である(参考情報1、2)。我が国のA型肝炎の遺伝子型はIAが主流であるが、2010年に複数の自治体でIIIAが報告された(参考情報3)。また、海外でも2009年にIIIAのアウトブレイクが報告されている(参考情報2)。2014年、一部自治体で積極的疫学調査として行われている遺伝子検査は、全国的には自治体あたりの患者数が少ないためあまり実施されていない状況である。なお、地方衛生研究所より国立感染症研究所ウイルス第二部へウイルス解析の依頼とともに検体送付があれば遺伝子検査の実施は可能である。

医療機関においては、問診などによりできる限り具体的な情報を収集し、その後の保健所等の調査に繋げることが望まれる。保健所、地方衛生研究所等においては、医療機関と連携して個々の事例の原因究明にあたりとともに、食材・食品の広域流通という観点も併せ、ウイルス学的検査の実施を含めた事例調査と対策における広域の連携が、対策上重要であると考えられる。

国立感染症研究所  
感染症疫学センター

金山敦宏 八幡裕一郎 中島一敏 山岸拓也 松井珠乃 高橋琢理 有馬雄三  
木下一美 齊藤剛仁 大石和徳 砂川富正

ウイルス第二部

石井孝司 脇田隆字

**【参考情報1】**

病原微生物検出情報( IASR )「A型肝炎ウイルスによる家族内での集団感染事例 - 川崎市」  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/2014-02-19-09-27-24/973-disease-based/a/hepatitis/hepatitis-a/idsc/iasr-in/3983-pr4049.html>

病原微生物検出情報( IASR )「A型肝炎ウイルスによる食中毒事例 - 千葉市」  
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/32/373/pr3733.html>

病原微生物検出情報( IASR )「A型肝炎ウイルスによる食中毒事例 - 新潟市・新潟県」  
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/27/317/pr3171.html>

病原微生物検出情報( IASR )「A型肝炎ウイルス( HAV )による食中毒2事例について - 東京都」  
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/23/273/dj2731.html>

病原微生物検出情報( IASR )「A型肝炎患者( 寿司店主 )が感染源と思われるA型肝炎ウイルスによる食中毒 - 岐阜県」  
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/23/268/kj2683.html>

病原微生物検出情報( IASR )「大アサリの喫食を原因とするノーウォーク様ウイルスとA型肝炎ウイルスによる食中毒事例 - 浜松市」  
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/23/267/kj2672.html>

中島一敏 A型肝炎とA型肝炎ワクチン. 臨床とウイルス 38( 5 ): 415-420, 2010.

Kiyohara T et al. Shifting Seroepidemiology of Hepatitis A in Japan,1973-2003. Microbiol. Immunol., 51( 2 ), 185-191, 2007.

**【参考情報2】**

Nordic Outbreak Investigation Team. Joint Analysis by the Nordic Countries of a hepatitis A outbreak, October 2012 to June 2013: Frozen Strawberries Suspected. Eurosurveillance, Volume 18, Issue 27, 04 July 2013

<http://www.eurosurveillance.org/ViewArticle.aspx?ArticleId=20520>

Lee H, Jeong H, Yun H et al. Genetic Analysis of Hepatitis A Virus Strains That Induced Epidemics in Korea during 2007-2009. J. Clin. Microbiol. 50( 4 ): 1252-1257, 2012

<http://jcm.asm.org/content/50/4/1252.full>

Health Protection Agency. Hepatitis A outbreak in France. Health Protection Report Vol 4 No.10-12 March 2010

<http://www.hpa.org.uk/hpr/archives/2010/hpr1010.pdf>

Petrignani M, Verhoef L, van Hunen R et al. A possible foodborne outbreak of hepatitis A in the Netherlands, January-February 2010. Eurosurveillance, Volume 15, Issue 11, 18 March 2010

<http://www.eurosurveillance.org/ViewArticle.aspx?ArticleId=19512>

**【参考情報3】**

病原微生物検出情報( IASR )特集: A型肝炎2010年9月現在

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/368/tpc368-j.html>

病原微生物検出情報( IASR )特集: A型肝炎・E型肝炎2002年9月現在

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/23/273/tpc273-j.html>

病原微生物検出情報( IASR )特集: 急性ウイルス性肝炎1999.4～12

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/21/242/tpc242-j.html>

注目すべき感染症: 2014年のA型肝炎の増加

感染症週報2014年第7週: 第16巻第7号

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2014/idwr2014-07.pdf>

注目すべき感染症: A型肝炎 2010年第1～13週

感染症週報2010年第13週: 第12巻第13号

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2010/idwr2010-13.pdf>

速報: A型肝炎 2006～2008年

感染症週報2009年第12週: 第11巻第12号

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2009/idwr2009-12.pdf>

速報: A型肝炎 2005年

感染症週報2006年第20週: 第8巻第20号

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2006/idwr2006-20.pdf>

速報: A型肝炎 2004年

感染症週報2005年第6週: 第7巻第6号

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2005/idwr2005-06.pdf>

感染症の話: A型肝炎

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/320-hepatitis-a-intro.html>



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html> )からの引用です。

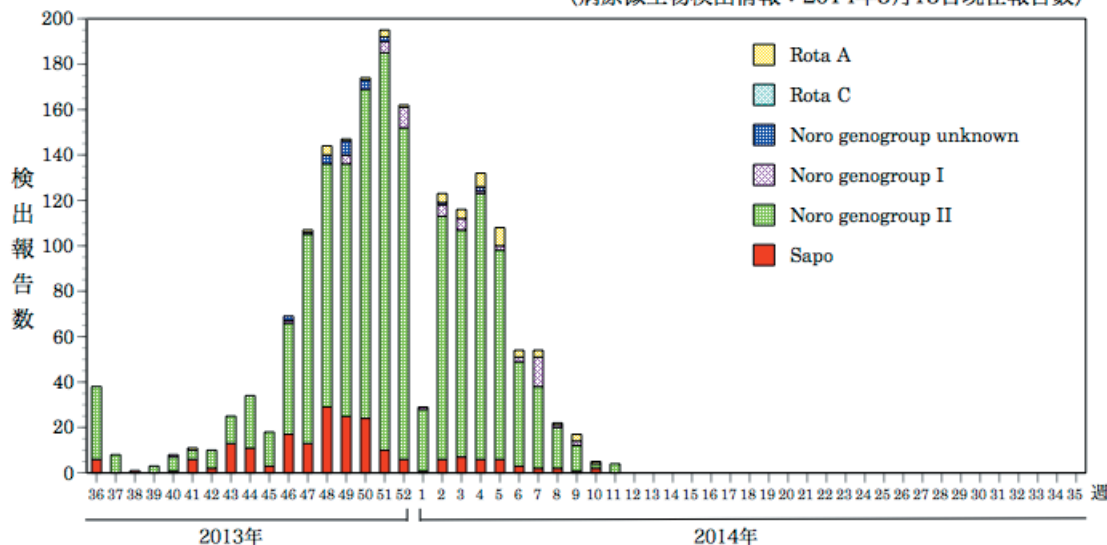
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2014年3月13日現在報告分)

### 感染性胃腸炎関連ウイルス 2013/14シーズン

2013/14シーズン(2013年第36週/9月～)は、第36週からノロウイルス、サポウイルスなどの検出が報告されており、第46週(11/11-17)以降ノロウイルスの検出報告が増加している。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2013/14シーズン  
(病原微生物検出情報: 2014年3月13日現在報告数)

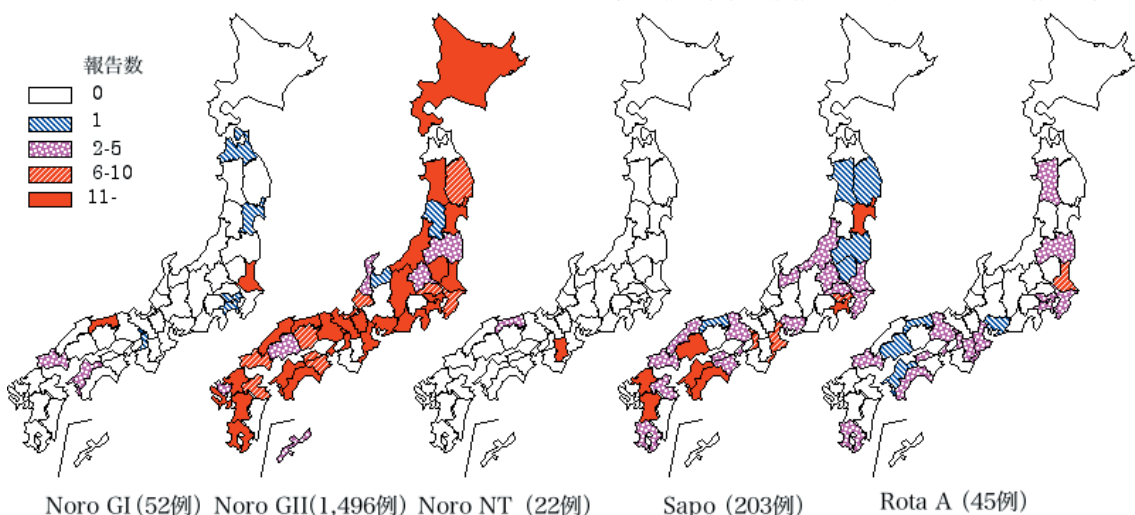


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



病原体個票では2013年第36週( 9/2-8 )~ 2014年第11週( 3/10-16 ) 検体採取週 までに、ノロウイルスgenogroup( G )IIが41都道府県から1,496例、ノロウイルスGIが9都府県から52例、ノロウイルスgenogroup不明( NT )が2県から22例、サポウイルスが29都府県から203例、A群ロタウイルスが18都府県から45例報告されている。この他に、アストロウイルスが11府県から29例報告されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2013/14シーズン  
(病原微生物検出情報：2014年3月13日現在報告数)

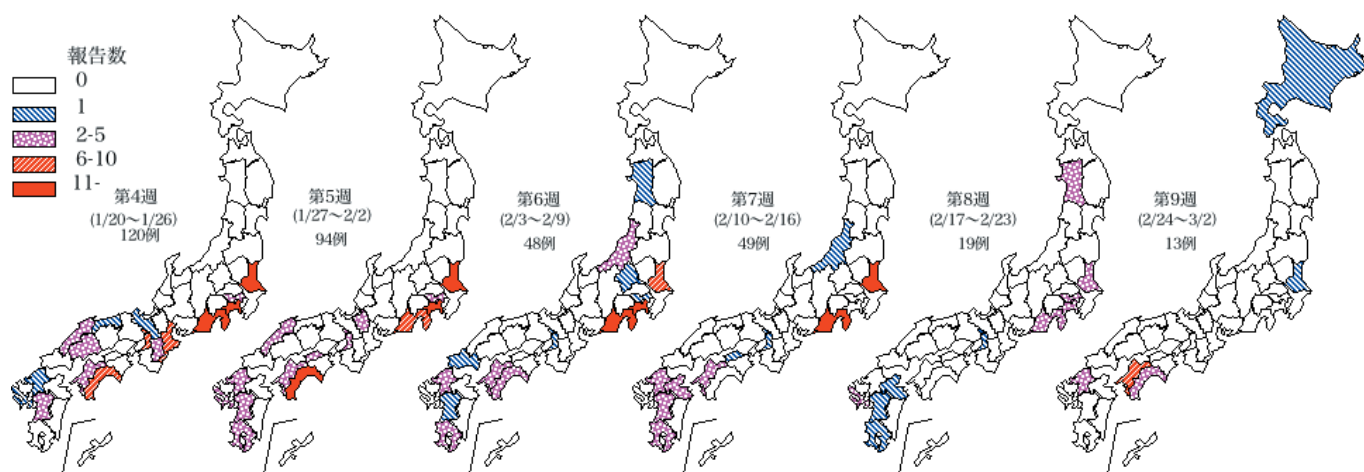


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



2014年第4週(1/20-26)～9週(2/24-3/2)の6週間では、ノロウイルスが25都道府県から343例(茨城県97例、神奈川県67例、静岡県45例、高知県26例、愛媛県18例、大阪府14例など)、サポウイルスが9都府県から20例(高知県8例、愛媛県3例、東京都、大分県各2例など)、A群ロタウイルスが11都府県から24例(茨城県4例、大阪府、高知県各3例など)、アストロウイルスが6県から10例(神奈川県3例、愛媛県、熊本県各2例など)報告されている。

週別都道府県別ノロウイルス検出報告状況、2014年第4週～第9週 (病原微生物検出情報：2014年3月13日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



上記ノロウイルスの報告には、飲食店、保育所、幼稚園、小学校、老人施設、福祉・養護施設などにおける感染性胃腸炎の集団発生や、飲食店、宴会場、旅館、宿舎・寮などにおける食中毒や有症苦情からの検出が含まれている。

ノロウイルス等検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html> を参照ください。



## 海外感染症情報

\*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### ウガンダにおける髄膜炎菌性髄膜炎の発生状況について

2014年3月6日 WHO( AFRO )

3月6日付けで公表された世界保健機関( WHO )アフリカ地域事務局( AFRO )の情報によりますと、ウガンダ保健省は、保健関係機関の支援を受けて、ウエストナイル地方における髄膜炎菌性髄膜炎の集団発生に対応しています。3月6日時点で、121人の患者が報告され、このうち5人が死亡しました( 致死率は4.95%です )。患者のうち26人は南スーダンの国境における紛争が続いているため、南スーダンからウガンダに来た難民でした。

患者の多くはアジュマニ( Adjumani )県とアルア( Arua )県から報告されています。アジュマニ県では53人の患者が報告され、このうち1人が死亡しました( 致死率は1.9%です )。アルア県では47人の患者が報告され、このうち3人が死亡しました( 致死率は6.4%です )。アジュマニ県の初発患者は1月31日に報告されました。アジュマニ県の2地区では、第5週から第9週の間流行閾値を超えました。この2地区はいずれも南スーダンからの難民を受け入れています。

毎週報告される新規患者数は14人から19人と一定数で推移していますが、第9週には29人に増加し、そのうち19人がアジュマニ県で報告されました。アジュマニ県とアルア県の患者の多く( 96人中66人、69% )は15歳未満の小児でした。

84検体のうち32検体で髄膜炎菌( W-135 )が陽性( 7検体は培養による検査で陽性、25検体はパストレックス迅速診断検査で陽性 )でした。このうち29検体がアジュマニ県の患者から採取されたもので、アルア県の患者から採取された検体で陽性となった検体は1検体のみでした。

政府と関係団体からの要請により、髄膜炎の流行を制御するためのワクチンの提供に関する国際調整グループは3価の髄膜炎菌ワクチン( A、C、W-135 )66,830回分を供出することを承認しました。WHOと関係団体は、流行閾値を超えた2地区における集団予防接種キャンペーンの準備を行うため、保健省を支援しています。

集団発生を制御し、感染拡大を防ぐための他の介入も行われています。

WHOは、この事例に関して、渡航や貿易を制限することを推奨していません。

### 鳥インフルエンザA( H7N9 )の発生状況について( 更新28 )

2014年3月7日 WHO( GAR )

3月7日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、中国の香港特別行政区衛生防護センター( CHP )は、3月4日、鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染したと確定された患者が1人発生したとWHOに報告しました。

患者は18カ月の女児。軽度の発熱症状で2月28日医師の診察を受けました。3月1日病院に入院し、3月3日軽快退院となりました。3月4日鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染したことが確定し、別の病院に入院しました。現在の容態は、発熱もなく無症状です。

初期の疫学調査によると、この患者は2月5日から2月27日まで広東省仏山市を旅行し、母親とウエットマーケット( 生鮮市場 )を訪れていることが明らかになりました。この患者の旅行歴や接触歴について、全ての濃厚接触者の追跡も含め、さらなる調査を行っています。

全体的なリスク評価は変わっていません。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスが国際的に広がってはいません。しかし、家きんでは、

ウイルスに感染しても症状が出ないため、継続的な監視が必要です。

これまでに鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

感染が起きている国からの感染者が、他の国に滞在中または到着後に発見される場合がありますが、人の間でウイルスが容易に感染するものではないので、患者が発見された場合でも地域レベルで感染が広がる可能性は低いです。ウイルスが効率的に人から人へと感染する能力を獲得するまでは、渡航者によってH7N9が国際的に広がる危険性は低いままです。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんと殺す場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

### 鳥インフルエンザA( H7N9 )の発生状況について( 更新29 )

2014年3月5日 WHO( GAR )

3月10日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、3月5日と3月6日、鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染したと確定された患者が4人発生したとWHOに報告しました。

3月5日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ 山東省泰安市出身で、現在は江蘇省無錫市に住む59歳の男性。2月25日に発症し、3月3日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。
- ・ 江蘇省徐州市の36歳の男性。2月28日に発症し、3月2日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。この患者は家きんとの接触歴がありました。
- ・ 広東省広州市の75歳の男性。2月19日に発症し、2月26日に病院に入院しましたが、3月1日に死亡しました。

3月6日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ 広東省湛江市出身で、現在は仏山市に住む39歳の男性。2月27日に発症し、3月4日に病院に入院しました。現在の容態は重症です。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施といった対策を行っています。

全体的なリスク評価は変わっていません。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスが検出され



たと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスが国際的に広がってはいません。しかし、家きんでは、ウイルスに感染しても症状が出ないため、継続的な監視が必要です。

これまでに鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

感染が起きている国からの感染者が、他の国に滞在中または到着後に発見される場合がありますが、人の間でウイルスが容易に感染するものではないので、患者が発見された場合でも地域レベルで感染が広がる可能性は低いです。ウイルスが効率的に人から人へと感染する能力を獲得するまでは、渡航者によってH7N9が国際的に広がる危険性は低いままです。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんをと殺する場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

#### 世界におけるインフルエンザの流行状況について(更新4)

2014年3月10日 WHO

##### 【要約】

- ・ 北米におけるインフルエンザの活動性は、全体的に減少し続けましたが、依然として高い水準にある地域があります。インフルエンザA( H1N1 )pdm09が優勢でしたが、全地域でインフルエンザB型の検出が若干増加しました。
- ・ ヨーロッパでは、インフルエンザの活動性は国によって異なりました。活動性の全体的な傾向は、北部と東部で若干増加し、南西部で減少しました。インフルエンザA( H1N1 )pdm09とインフルエンザA( H3N2 )が伝播し続けましたが、優勢な亜型は国によって異なりました。
- ・ 東アジアでは、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09が優勢でしたが、傾向は国によって異なりました。中国におけるインフルエンザの活動性は減少し始めましたが、モンゴルにおける活動性は増加し続けました。
- ・ アジアの熱帯地域では、インフルエンザの活動性は全体的に減少しましたが、タイではインフルエンザA( H1N1 )pdm09の活動性が増加したと報告されました。
- ・ 北アフリカと西アジアでは、インフルエンザの活動性は国によって異なり、エジプトでは、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09が高い水準であったと報告されています。
- ・ FluNet( 3月4日時点 )によれば、第7週から第8週( 2014年2月9日から2月22日 )の間、80の国・地域にある国のインフルエンザ・センターやその他の国内のインフルエンザ研究施設からデータ

が報告されました。WHO世界インフルエンザサーベイランス及び対応システム( GISRS )の検査施設では、80,809以上の検体を検査しました。インフルエンザが陽性となったのは16,409検体で、このうち13,869検体( 84.5% )がインフルエンザA型で、2,540検体( 15.5% )がインフルエンザB型でした。亜型が解析されたインフルエンザA型ウイルスのうち、6,283( 70.6% )がインフルエンザA( H1N1 )pdm09、2,612検体( 29.4% )がインフルエンザA( H3N2 )でした。解析されたインフルエンザB型ウイルスのうち、124検体( 84.9% )が山形系統で、22検体( 15.1% )がピクトリア系統でした。

- ・鳥インフルエンザウイルスA( H7N9 )に関する更新情報は、WHOのウェブサイトを参照してください。

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/influenza\\_h7n9/](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/)

#### 【北半球の温帯地域】

##### ・北米

北米では、インフルエンザの活動性は全体的に減少傾向が続きました。全地域でインフルエンザA( H1N1 )pdm09が優勢でしたが、インフルエンザB型の活動性が若干増加しました。

カナダでは、インフルエンザの活動性は前週と同様に減少しました。今シーズンでインフルエンザの影響を最も受けたのは20歳から64歳の年齢層でした。依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09が優勢でしたが、インフルエンザB型の検出が増加しました。

米国における2月第3週のインフルエンザの活動性は、前週に比べて減少傾向が続きました。ILI( インフルエンザ様疾患 )で受診した外来患者の割合は3.0%から2.3%に減少しましたが、国の閾値である2.0%を若干超えていました。肺炎およびインフルエンザによって死亡した人の割合は7.6%で流行閾値の7.4%を超えていました。米国では、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09が優勢でした。

メキシコでは、インフルエンザの検出数は減少しましたが、インフルエンザの活動性は、依然として増加しました。ILIとSARI( 重症急性呼吸器感染症 )に関連して医療機関を受診した者の割合は、過去2週間で3.8%から2.8%に減少しました。肺炎の割合は3週連続して減少しましたが、急性呼吸器感染症( ARI )の活動性は前週に比べて若干増加しました。インフルエンザに関連した死亡のうち、90%はインフルエンザA( H1N1 )pdm09に関連していました。

##### ・ヨーロッパ

ヨーロッパ地域におけるインフルエンザの活動性は、国によって異なりました。ヨーロッパの東部と北部では、インフルエンザの活動性が若干増加したか、高まり続けました。ヨーロッパの南西部では、活動性が減少しました。フィンランドとギリシャでは活動性が高いと報告されましたが、その他の国の活動性は中等度または低いと報告されました。全体的に、今シーズンは前シーズンに比べて、弱いようです。全域で、インフルエンザA( H1N1 )pdm09とインフルエンザA( H3N2 )が伝播しましたが、優勢な亜型は国によって異なりました。全体的には、インフルエンザA( H1N1 )pdm09が若干多く検出されました。

##### ・アフリカ北部、西アジア、中央アジア

中央アジアと西アジアでは、インフルエンザの活動性は国によって異なりました。イランとトルコでは、インフルエンザが陽性であった検体数は減少し続けたと報告されました。エジプトでは、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09の活動性が高い水準であり、ILIによる外来受診者の

割合も増加したと報告されました。その他の国におけるインフルエンザの活動性は依然として低い水準でした。

・東アジア

東アジアでは、インフルエンザA( H1N1 )pdm09、インフルエンザA( H3N2 )、インフルエンザB型ウイルスがともに伝播したものの、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09ウイルスが優勢でした。中国では、北部、南部ともにインフルエンザの活動性は減少しました。香港では、インフルエンザの活動性は依然として高い水準が続いたと報告されました。モンゴルでは、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09の活動性が高い水準であり、ILIと肺炎の患者数も増加したと報告されました。韓国では、インフルエンザの活動性は増加し続けており、インフルエンザA( H1N1 )pdm09、A( H3N2 )、インフルエンザB型ウイルスが同じような割合で検出されました。日本では、インフルエンザの活動性は減少しました。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

カリブ海諸国、中米、南米の熱帯地域におけるインフルエンザの活動性は、全体として低い水準でした。

・中部アフリカの熱帯地域

アフリカ地域では、インフルエンザの活動性は全体的に低い水準でしたが、マダガスカルでは、インフルエンザA( H3N2 )ウイルスの検出数が増加したと報告され、ガーナでは、インフルエンザB型の活動性が継続して報告されました。

・アジアの熱帯地域

東南アジア諸国におけるインフルエンザの活動性は全体的に低い水準でした。タイでは、ILIの患者数とインフルエンザA( H1N1 )pdm09の活動性が増加したと報告されました。

【南半球の温帯地域】

南半球におけるILIの活動性は、依然として低い水準が続いており、インフルエンザA( H1N1 )pdm09、インフルエンザA( H3N2 )、インフルエンザB型ウイルスが散発的に検出されました。

中東呼吸器症候群( MERS )の発生状況について( 更新6 )

2014年3月11日 WHO( GAR )

3月11日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、サウジアラビアの保健省は、2月20日、MERS( マーズ )コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生したと公表しました。

報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ アル・アフサ( Al-Ahsa )の58歳の男性。2月2日に発症し、2月4日に病院に入院しましたが、回復し、2月24日に退院しました。この患者には複数の慢性疾患があり、動物との接触歴があったと報告されています。
- ・ リヤドの81歳の女性。複数の基礎疾患( 持病 )があり、2月2日に病院に入院し、2月5日に

MERSの症状が現れました。この患者は2月8日に死亡しました。この患者は、発症前の動物との接触歴は報告されていません。

全体として、2012年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は186人で、このうち81人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療機関でMERSコロナウイルスに感染するかもしれないため、感染予防・制御を強化し続ける必要があります。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。すべての医療従事者に対して感染予防・制御に関する教育と訓練を定期的実施すべきです。

MERSコロナウイルスの早期発見は重要ですが、特に軽症の場合や、所見が非典型的である場合など、すべての患者を確実にかつ適時に発見できるわけではありません。そのため、MERSコロナウイルスや他の病原体に感染した疑いがある患者や確定患者の有無にかかわらず、常に、どの場所でも、すべての患者に対して標準予防策を実施することが重要です。

急性呼吸器感染症の症状のある患者に医療を提供する際には、飛沫予防策を追加すべきです。また、MERSコロナウイルスに感染した可能性がある患者や確定患者に医療を提供する際には、眼の防護を加えた接触予防策を追加すべきです。エアロゾル(微粒子)が発生するような処置を行う場合には、空気予防策を行う必要があります。

臨床的にも疫学的にもMERSコロナウイルスの感染が強く疑われる場合には、その患者の最初の鼻咽頭スワブ(ぬぐい液)の検査が陰性であっても、感染している可能性があるとして管理すべきです。最初の検査が陰性であれば、再検査を行うべきで、下気道からの検体が望ましいです。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザA( H7N9 )の発生状況について( 更新30 )

2014年3月11日 WHO( GAR )

3月11日付けで公表された世界保健機関( WHO )の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、3月7日と3月8日、鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染したと確定された患者が4人発生したとWHOに報告しました。

3月7日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ 広東省広州市の88歳の男性。2月21日に発症し、3月5日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。この患者は家きんととの接触歴がありました。

3月8日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ 福建省福州市の27歳の男性。2月20日に発症し、2月27日に病院に入院しました。現在の容態は安定しています。この患者は家きんととの接触歴がありました。
- ・ 広東省梅州市の70歳の男性。2月27日に発症し、3月3日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。この患者は家きんととの接触歴がありました。
- ・ 広東省潮州市の76歳の女性。3月1日に発症し、3月6日に病院に入院しました。現在の容態は重篤です。この患者は家きんととの接触歴がありました。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施といった対策を行っています。

全体的なリスク評価は変わっていません。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスが国際的に広がってはいません。しかし、家きんでは、ウイルスに感染しても症状が出ないため、継続的な監視が必要です。

これまでに鳥インフルエンザA( H7N9 )ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

感染が起きている国からの感染者が、他の国に滞在中または到着後に発見される場合がありますが、人の間でウイルスが容易に感染するものではないので、患者が発見された場合でも地域レベルで感染が広がる可能性は低いです。ウイルスが効率的に人から人へと感染する能力を獲得するまでは、渡航者によってH7N9が国際的に広がる危険性は低いままです。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんをと殺する場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新7)

2014年3月12日 WHO(GAR)

3月12日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、WHOはMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに3人発生したとの報告を受けました。3月11日にアラブ首長国連邦から1人、3月5日にサウジアラビアから2人の患者が報告されました。

アラブ首長国連邦から報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ アブダビ( Abu Dhabi )の68歳の男性。3月1日に発症し、3月3日に病院に入院しました。現在の容態は安定しています。この患者には基礎疾患( 持病 )がありました。MERSコロナウイルスに感染した患者との接触歴はなく、渡航歴もありませんでした。この患者は、農場を所有しており、毎日その農場に行っており、そこで飼育しているラクダを含む動物との接触歴がありました。

サウジアラビアの保健省から報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・ リヤド( Riyadh )の51歳の男性で、基礎疾患がありました。2月28日に発症し、3月2日に病院に入院しました。この患者は動物との接触歴があったと報告されています。
- ・ リヤドの56歳の女性で、基礎疾患がありました。2月17日に発症し、2月25日に病院に入院しましたが、3月3日に死亡しました。

全体として、2012年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は189人で、このうち82人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療機関でMERSコロナウイルスに感染するかもしれないため、感染予防・制御を強化し続ける必要があります。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。すべての医療従事者に対して感染予防・制御に関する教育と訓練を定期的実施すべきです。

MERSコロナウイルスの早期発見は重要ですが、特に軽症の場合や、所見が非典型的である場合など、すべての患者を確実にかつ適時に発見できるわけではありません。そのため、MERSコロナウイルスや他の病原体に感染した疑いがある患者や確定患者の有無にかかわらず、常に、どの場所でも、すべての患者に対して標準予防策を実施することが重要です。

急性呼吸器感染症の症状のある患者に医療を提供する際には、飛沫予防策を追加すべきです。また、MERSコロナウイルスに感染した可能性がある患者や確定患者に医療を提供する際には、眼の防護を加えた接触予防策を追加すべきです。エアロゾル( 微粒子 )が発生するような処置を行う場合には、空気予防策を行う必要があります。

臨床的にも疫学的にもMERSコロナウイルスの感染が強く疑われる場合には、その患者の最初の鼻咽頭スワブ( ぬぐい液 )の検査が陰性であっても、感染している可能性があるとして管理すべきです。最初の検査が陰性であっても、再検査を行うべきで、下気道からの検体が望ましいです。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの

検査をすべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>  
でご覧いただけます。

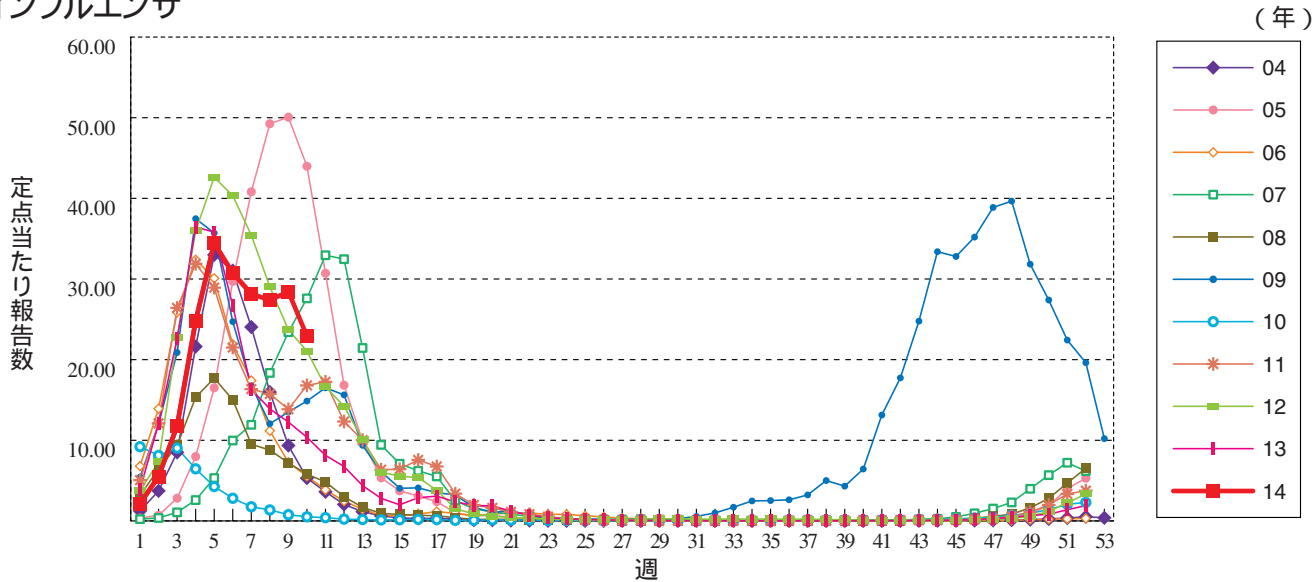
\*\*\*\*\*



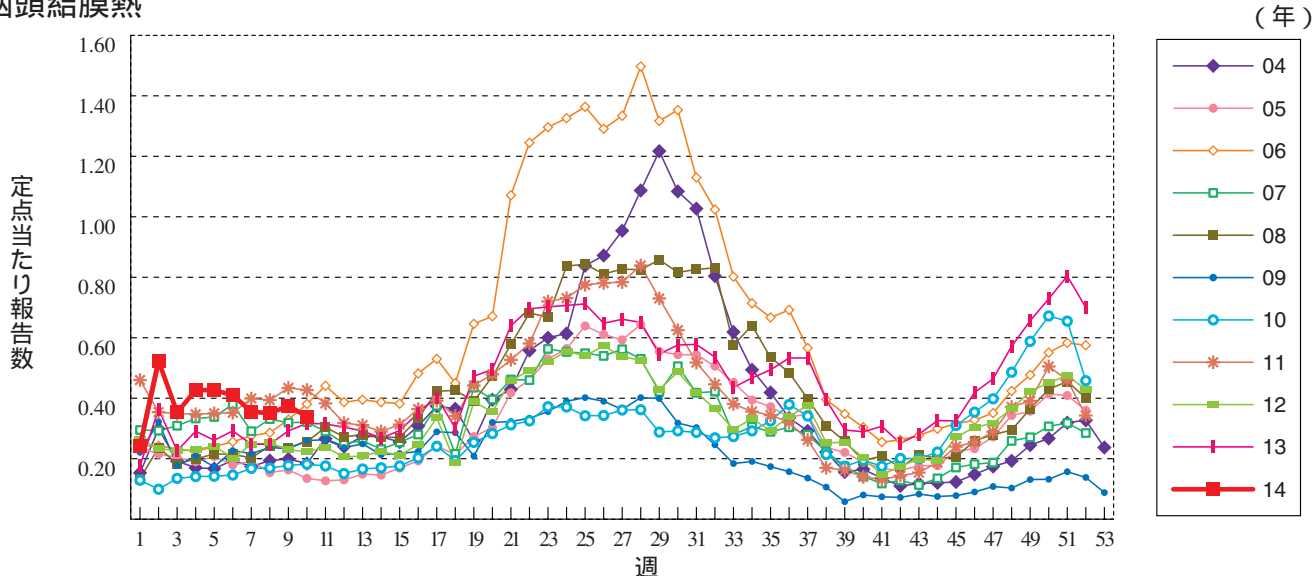


**グラフ総覧(10週)**

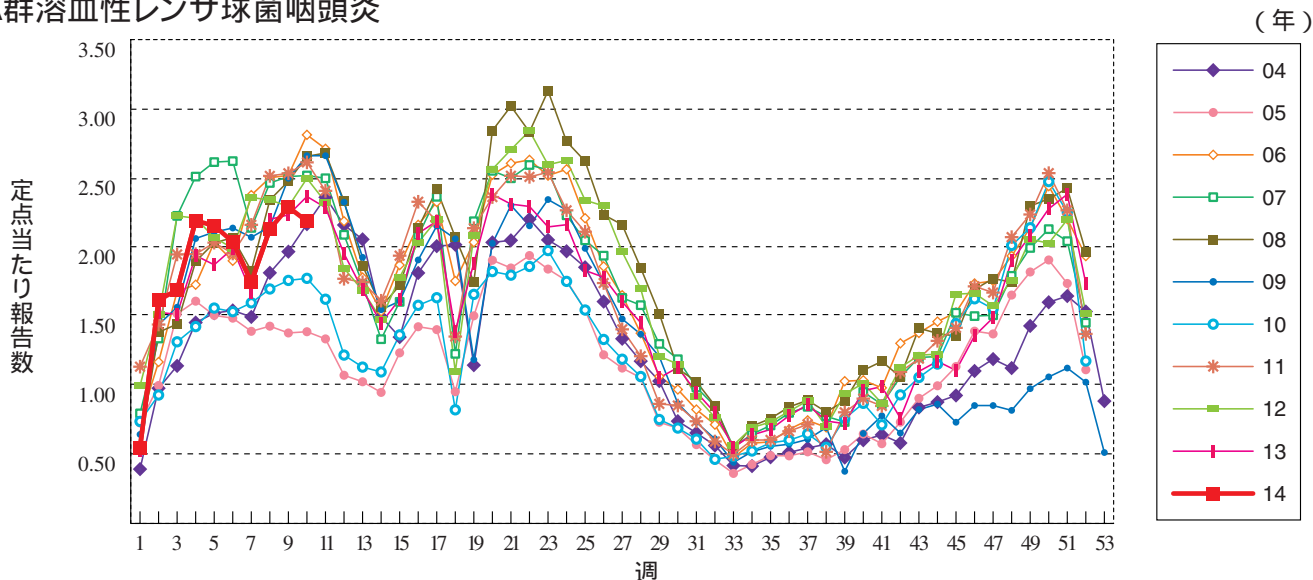
**インフルエンザ**



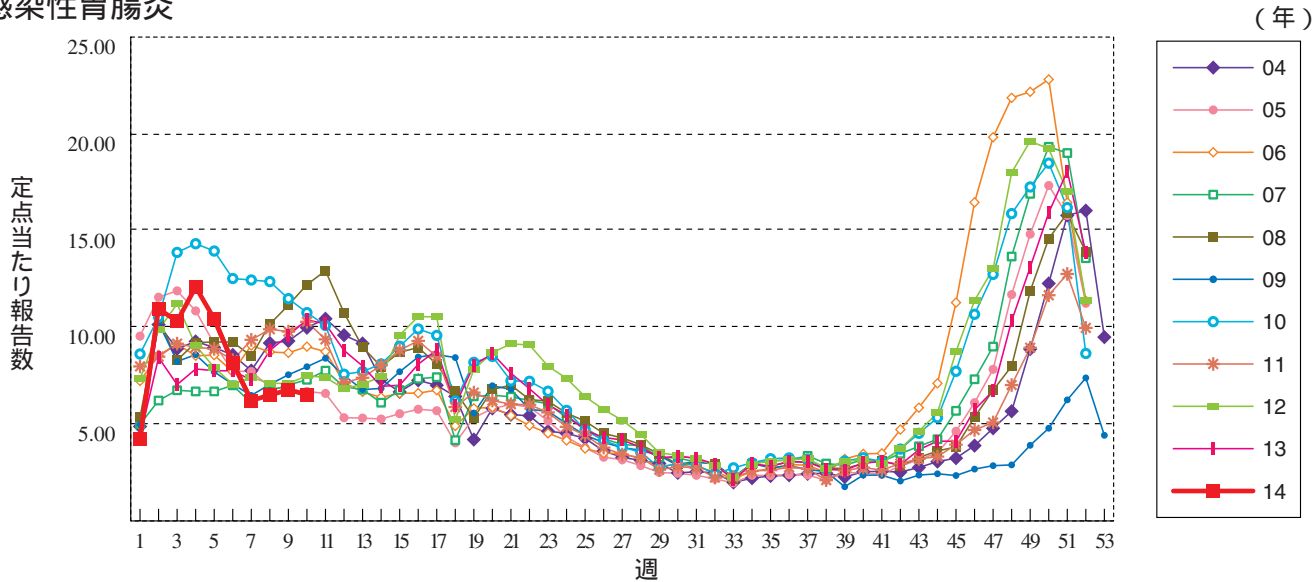
**咽頭結膜熱**



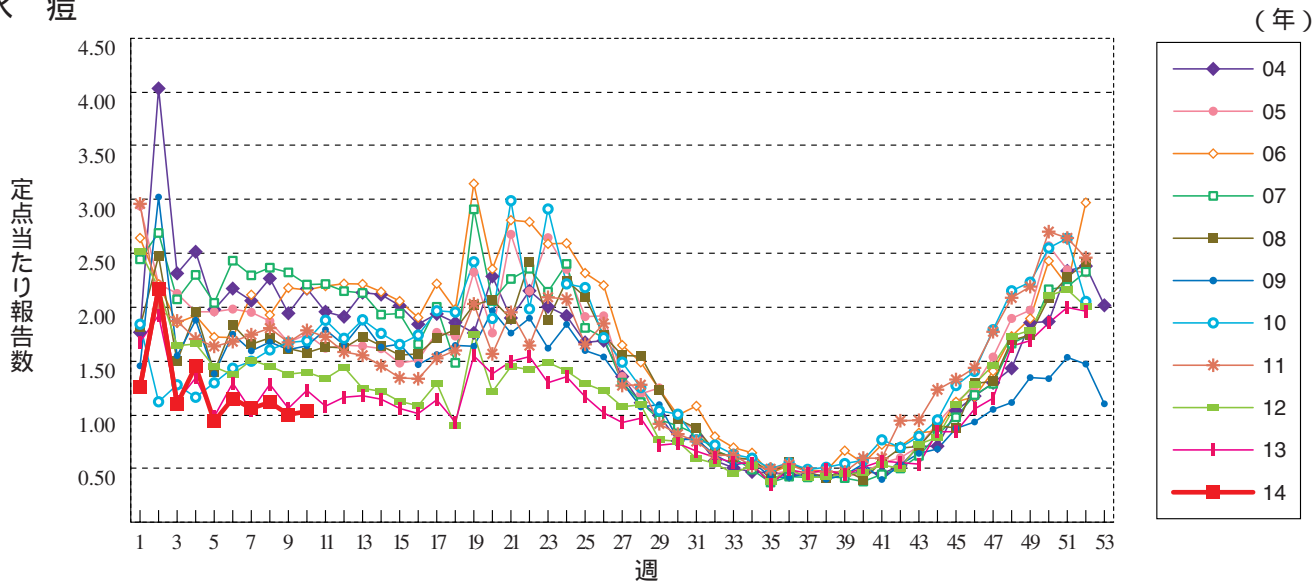
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



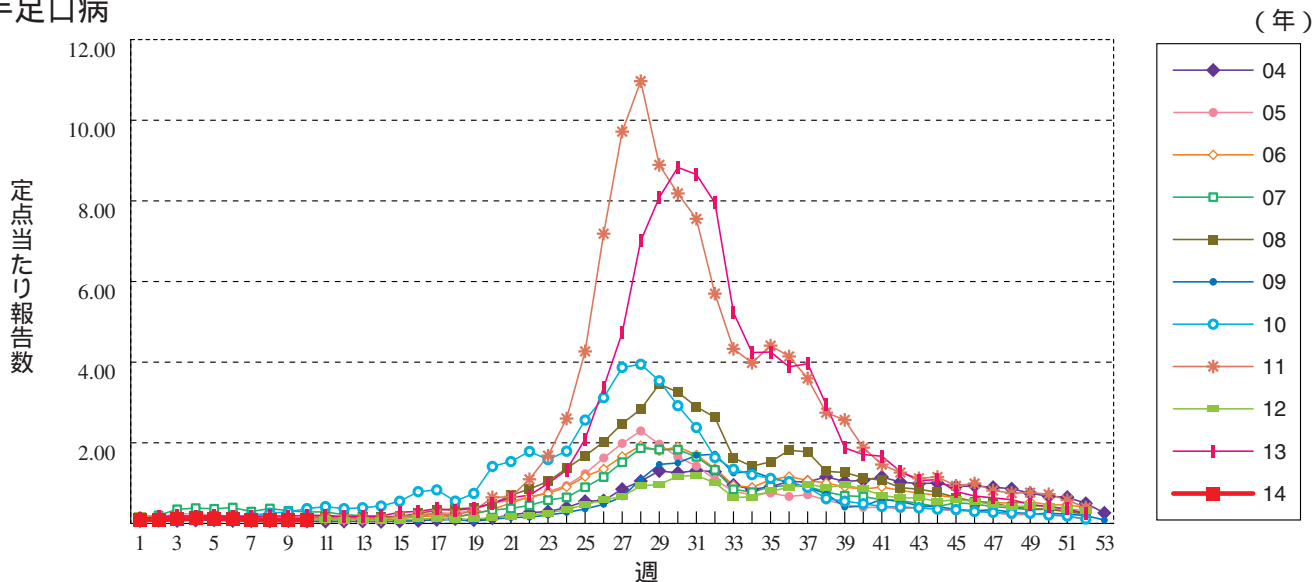
### 感染性胃腸炎



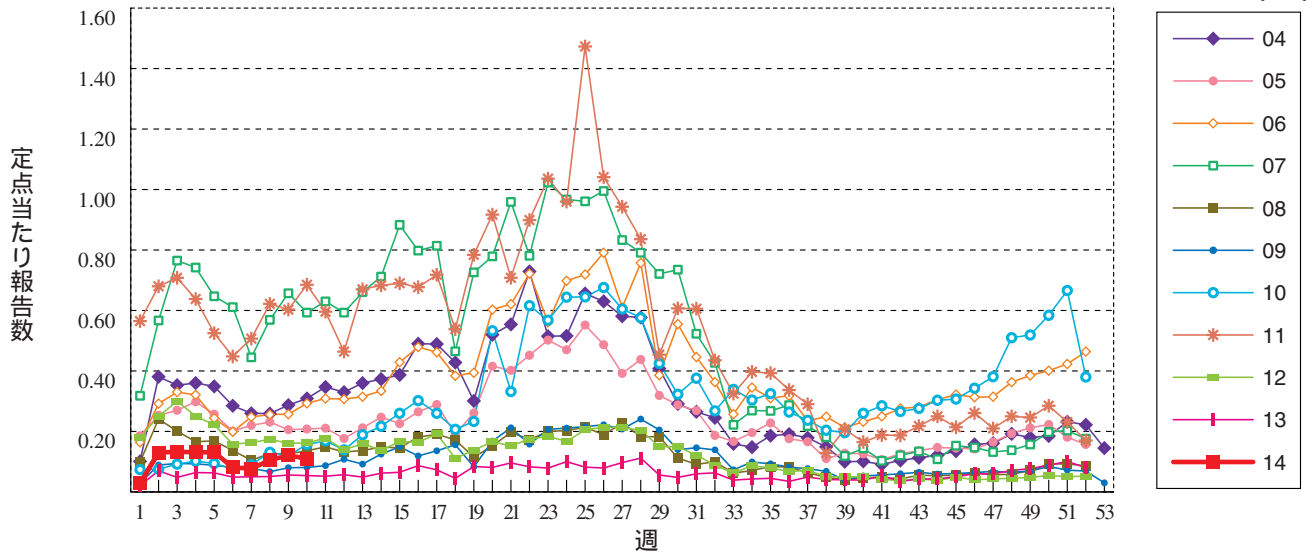
### 水痘



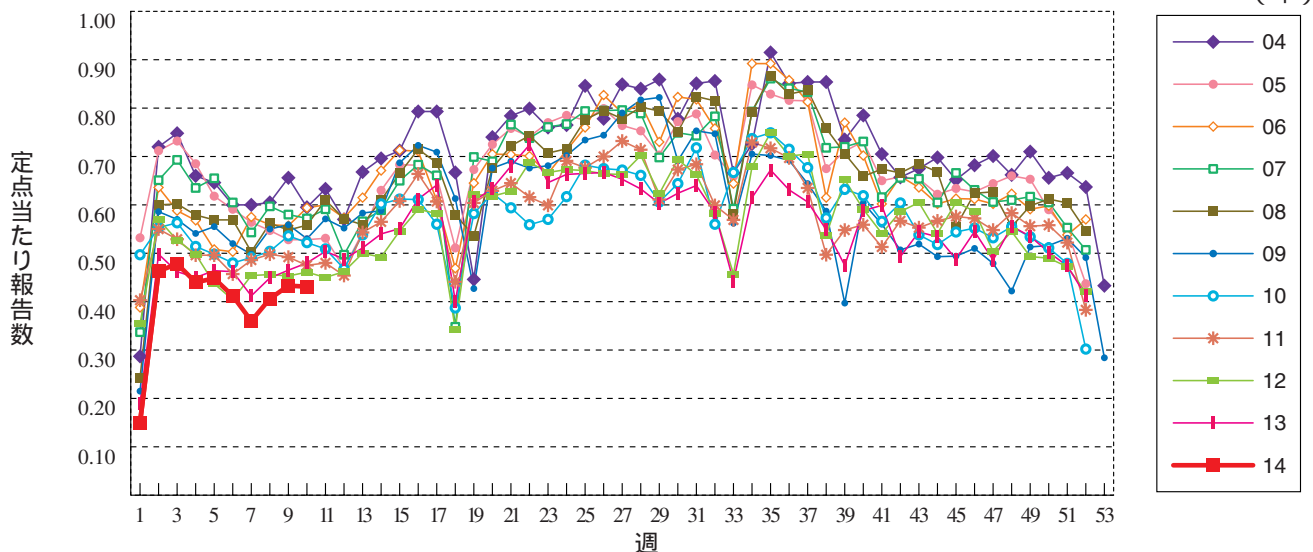
### 手足口病



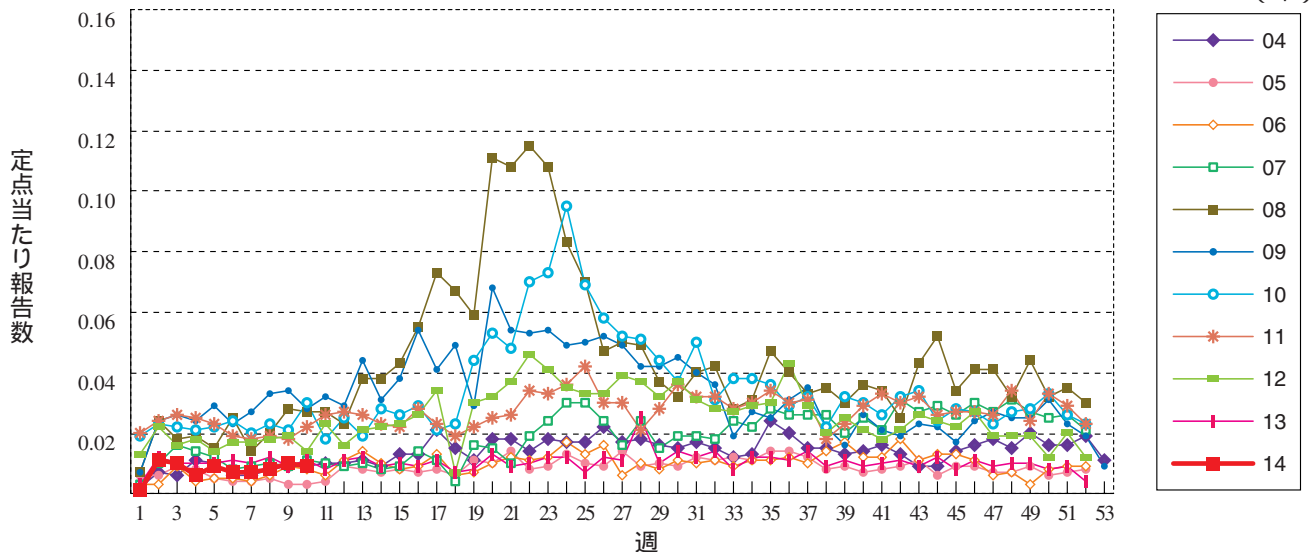
伝染性紅斑



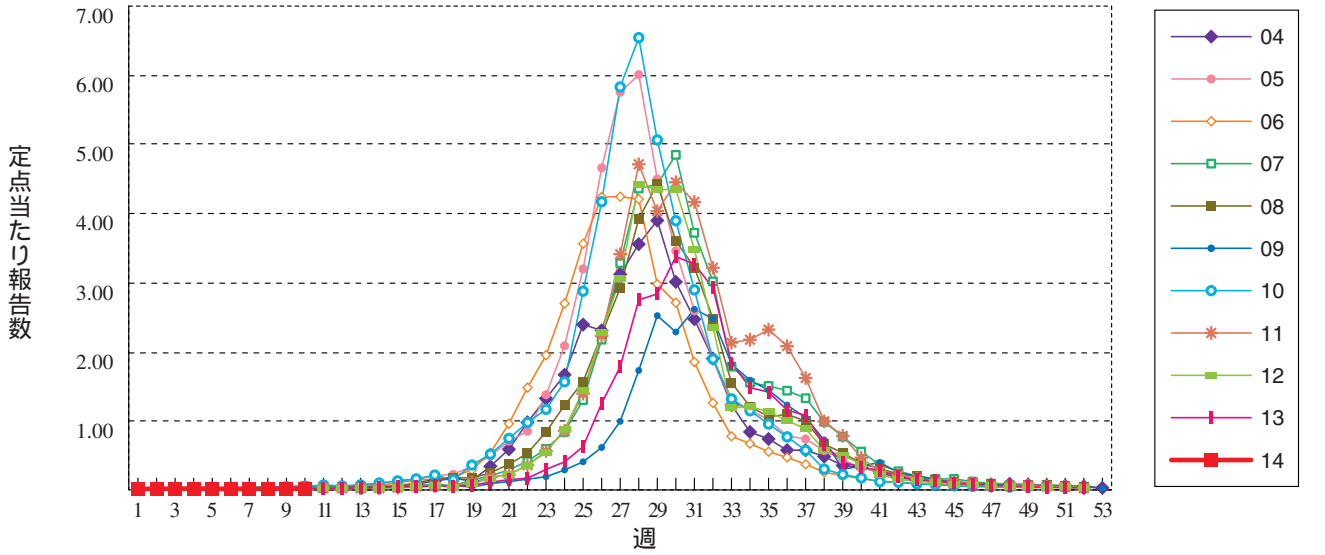
突発性発しん



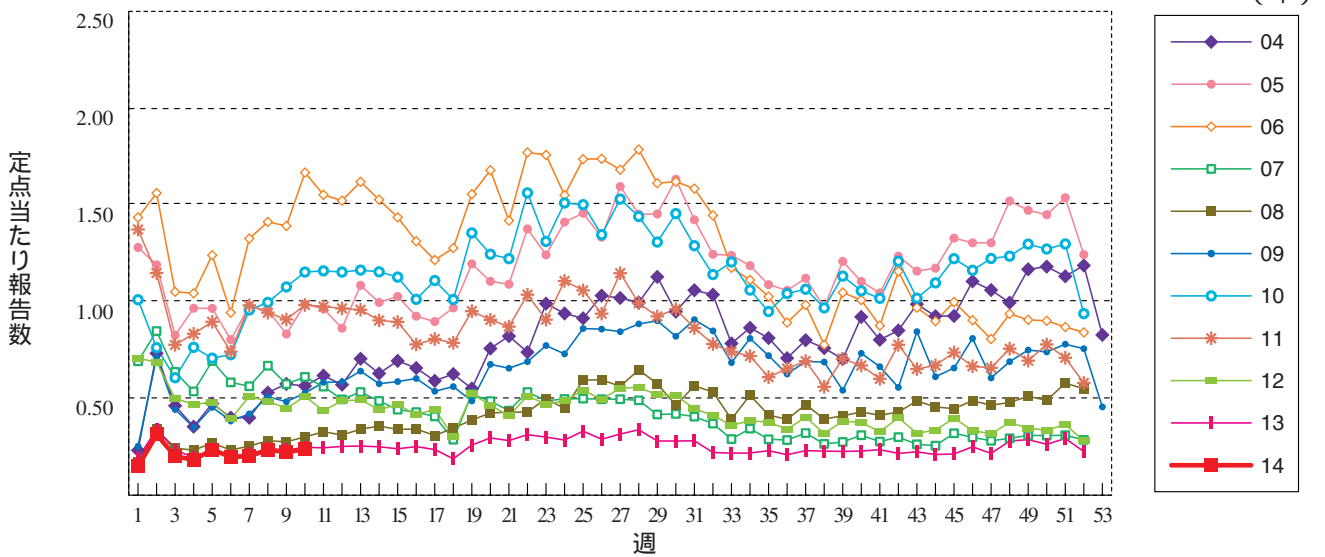
百日咳



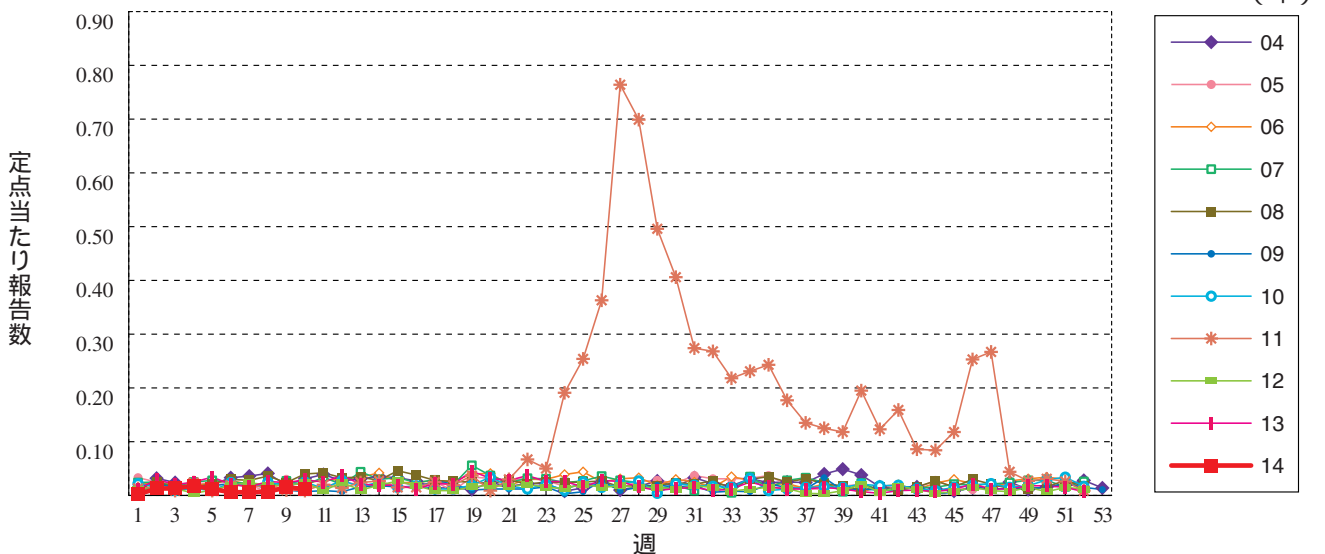
ヘルパンギーナ



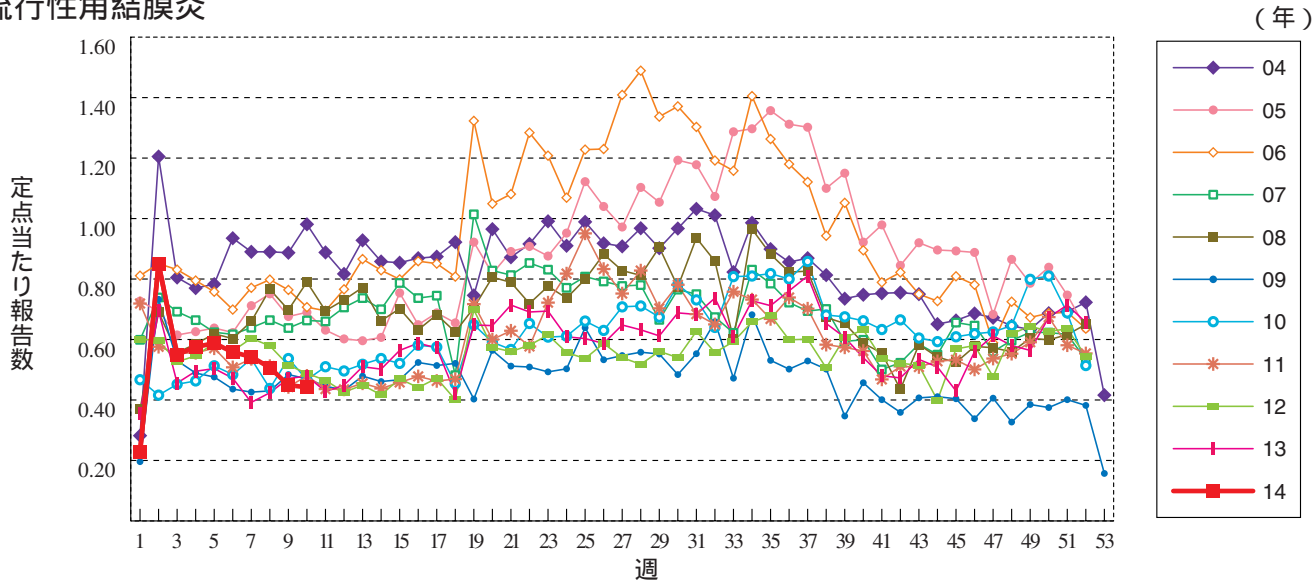
流行性耳下腺炎



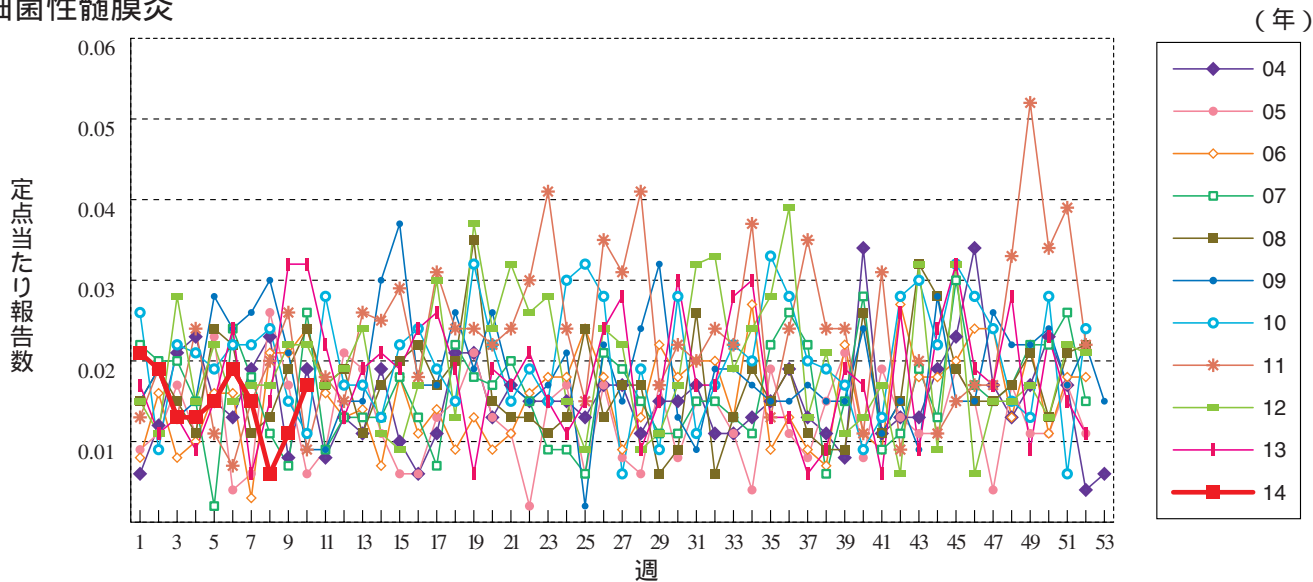
急性出血性結膜炎



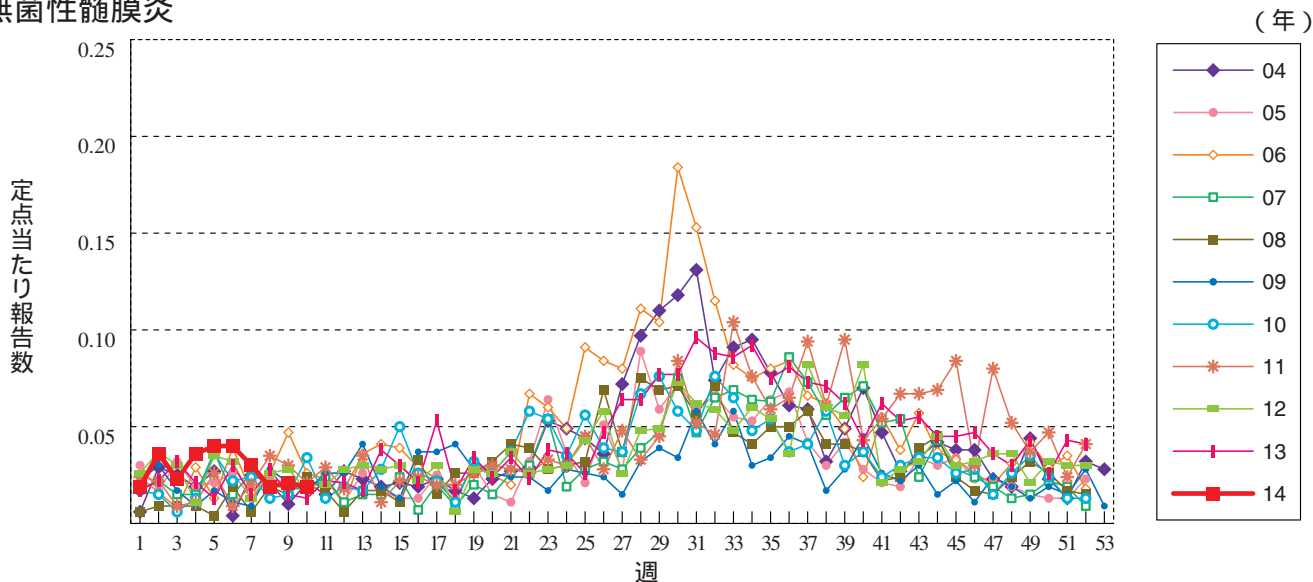
流行性角結膜炎



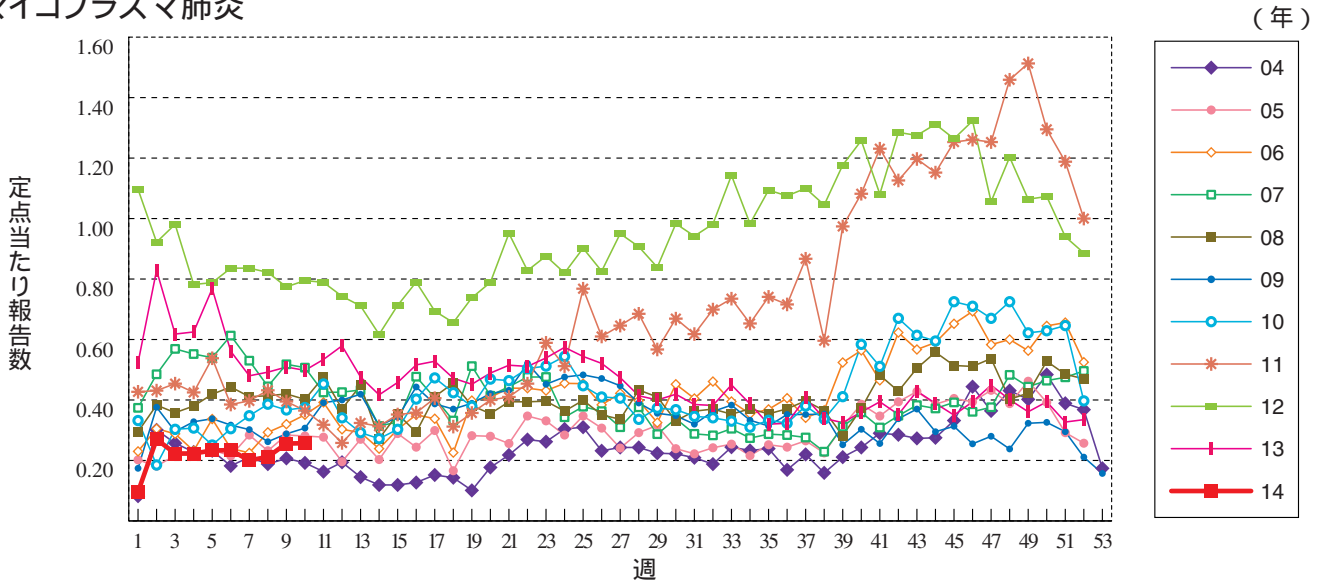
細菌性髄膜炎



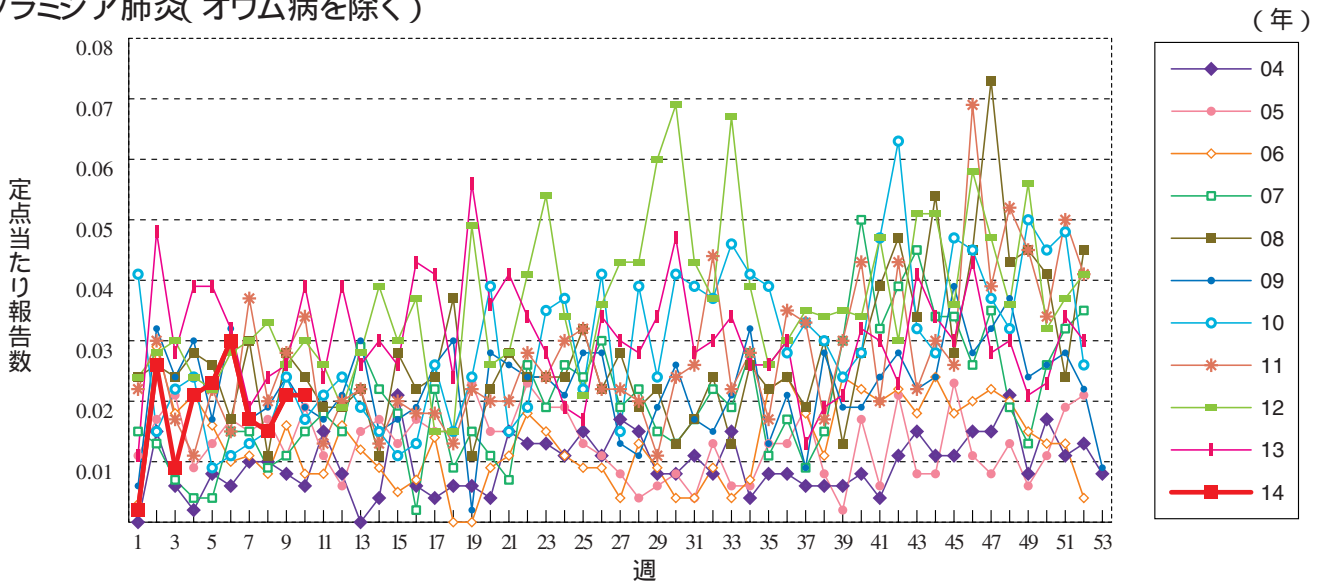
無菌性髄膜炎



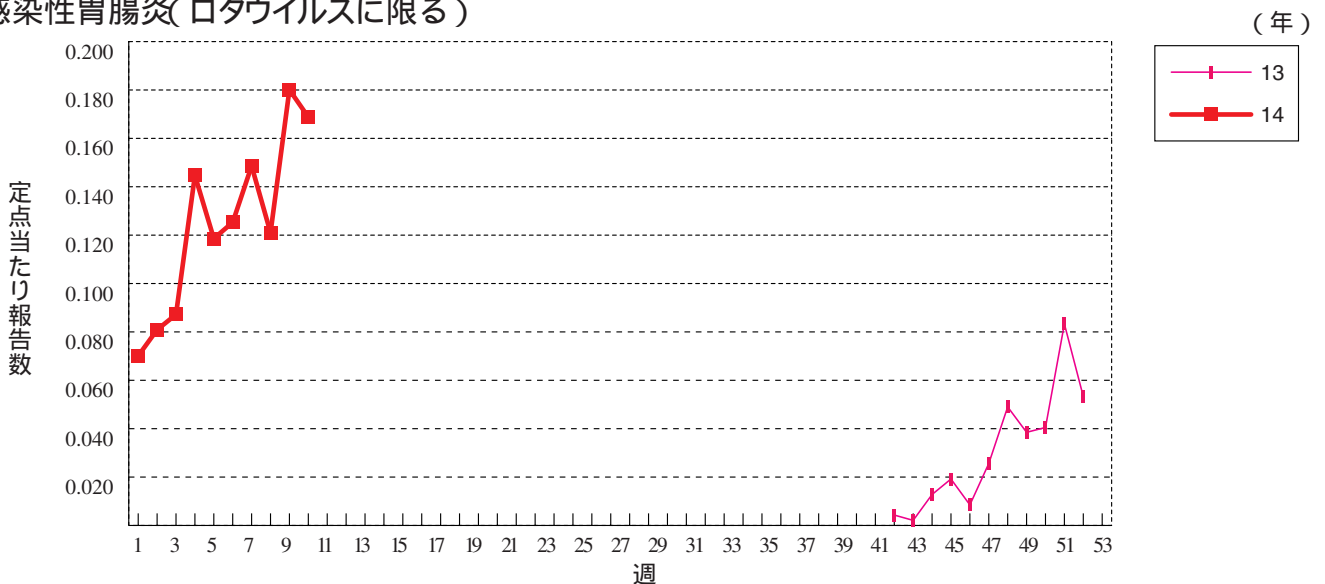
マイコプラズマ肺炎



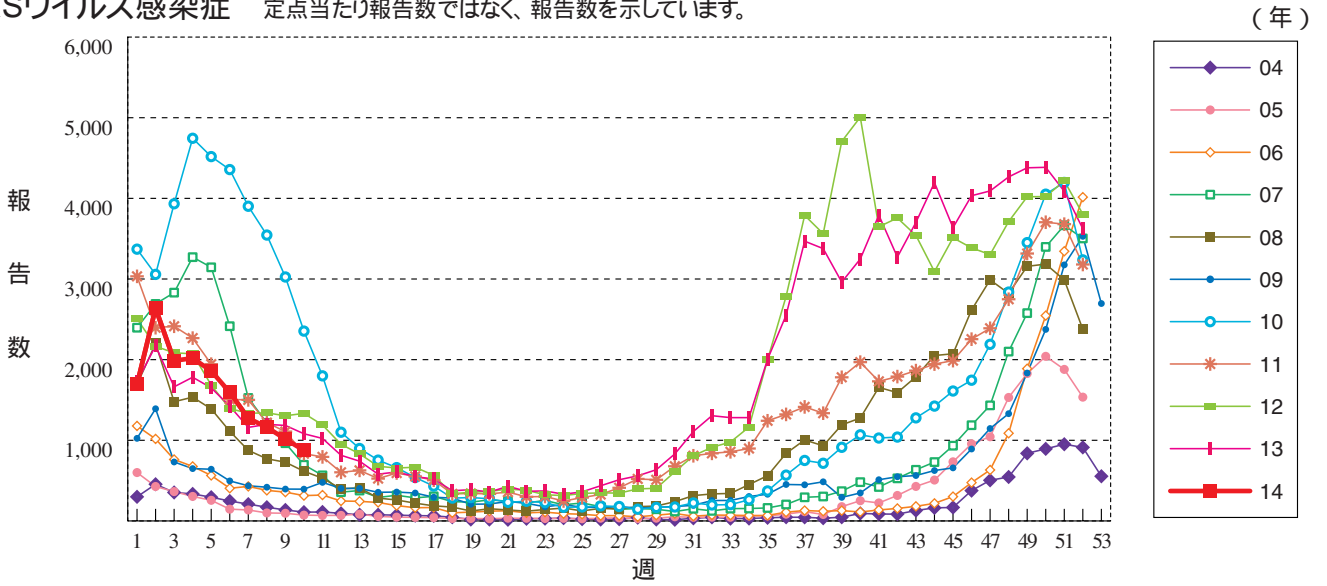
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





10週のデータ

注) 表中の報告数は3月12日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2014年10週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	367	3821
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	108
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	54
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	46
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	62
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	61
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	79
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	61
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	45
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	182
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	232
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72	561
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	301
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	58
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	35
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	40
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	65
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	99
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	288
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	45
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	75
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	240
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	125
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	40
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	55
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	69
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	40
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	23
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	36
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	142
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	85
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	38
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	47
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	53



\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16	5	62	2	9	-	1	3	25
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	1	5	-	-	1	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	2	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	48	165	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	4	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	2	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	3	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	6	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	9	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*鳥インフルエンザ( H5N1及びH7N9 )を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	26	-	18	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	9	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2014年10週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメルバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	14	187	-	3	-	-	10	167	2	42	8	111
北海道	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	6	-	1	-	6	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	4	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	7	-	-	1	2	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	5	-	1	1	6	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	4	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	1	8	-	1	2	9	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	2	-	1	-	16	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	4	33	1	11	2	13	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	1	12	-	3	-	5	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	3	-	2	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1	3	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3	-	1	-	3	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	16	-	1	1	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	2	18	-	3	1	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	5	-	2	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	1	-	1	-	4	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	5	-	1	-	2	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	4	-	2	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	8	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	4	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

\*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	5	2	25	4	47	23	240	1	8	3	35	1	11	20	367	-	7
北海道	-	-	-	1	-	2	-	6	-	1	-	1	-	-	1	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	3	12	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7	-	1
茨城県	-	-	-	1	-	-	2	5	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-	1	1	-	1	2	14	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	1	-	11	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-
東京都	-	3	-	1	2	12	8	80	-	2	-	3	-	1	-	37	-	3
神奈川県	-	-	-	3	-	3	1	13	-	-	-	2	-	1	5	48	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
富山県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	6	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	1	2	-	-	-	4	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-
愛知県	-	-	-	1	1	4	-	17	-	-	-	2	-	1	-	25	-	-
三重県	-	2	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	1	7	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	4	37	-	2	-	4	-	2	1	22	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	1	2	-	-	2	22	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
広島県	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	1	1	2	1	14	-	1	-	2	-	1	1	11	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	2	4	-	-	-	1	-	-	2	7	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-	17	-	-

\*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	14	239	1	14	-	-	1	8	6	94	23	172	-	-
北海道	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	1	2	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-
栃木県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
埼玉県	-	7	-	1	-	-	-	-	1	6	-	16	-	-
千葉県	-	5	-	-	-	-	-	-	5	1	21	-	-	-
東京都	4	73	1	3	-	-	1	2	3	24	5	27	-	-
神奈川県	-	14	-	1	-	-	-	2	-	27	5	17	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	-	2	7	13	-	-	-
愛知県	-	29	-	-	-	-	-	-	1	6	1	10	-	-
三重県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
大阪府	3	28	-	-	-	-	-	-	4	-	12	-	-	-
兵庫県	1	4	-	1	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-
奈良県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
広島県	-	2	-	1	-	-	-	1	1	1	-	8	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	7	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
鹿児島県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-



\*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	113410	22.93	874	1069	0.34	6894	2.19	20555	6.52	3247	1.03	237	0.08	347	0.11	1359	0.43	
北海道	6800	29.96	41	46	0.32	520	3.64	338	2.36	175	1.22	5	0.03	3	0.02	45	0.31	
青森県	2290	35.78	3	8	0.20	43	1.05	235	5.73	33	0.80	-	-	5	0.12	12	0.29	
岩手県	2423	37.86	2	11	0.28	115	2.88	372	9.30	46	1.15	-	-	9	0.23	14	0.35	
宮城県	3626	38.99	15	17	0.29	165	2.84	412	7.10	59	1.02	-	-	40	0.69	31	0.53	
秋田県	820	14.91	-	8	0.23	39	1.11	156	4.46	29	0.83	-	-	5	0.14	3	0.09	
山形県	1131	23.56	4	10	0.33	212	7.07	426	14.20	22	0.73	1	0.03	4	0.13	21	0.70	
福島県	1790	23.55	33	11	0.24	109	2.42	206	4.58	41	0.91	1	0.02	9	0.20	21	0.47	
茨城県	2184	18.20	5	26	0.35	148	1.97	420	5.60	45	0.60	3	0.04	8	0.11	22	0.29	
栃木県	1533	20.17	9	5	0.10	64	1.33	122	2.54	47	0.98	-	-	2	0.04	25	0.52	
群馬県	1774	18.10	6	16	0.27	123	2.05	205	3.42	31	0.52	1	0.02	-	-	28	0.47	
埼玉県	6352	25.61	26	42	0.27	430	2.74	866	5.52	136	0.87	4	0.03	18	0.11	79	0.50	
千葉県	4946	23.22	21	33	0.25	335	2.50	857	6.40	141	1.05	-	-	15	0.11	44	0.33	
東京都	9419	22.75	34	44	0.17	584	2.25	1272	4.89	215	0.83	11	0.04	41	0.16	123	0.47	
神奈川県	7849	23.36	32	19	0.09	334	1.60	1202	5.75	221	1.06	4	0.02	51	0.24	107	0.51	
新潟県	3057	31.84	22	30	0.49	332	5.44	542	8.89	102	1.67	1	0.02	67	1.10	28	0.46	
富山県	896	18.67	5	30	1.03	140	4.83	239	8.24	65	2.24	-	-	15	0.52	7	0.24	
石川県	1303	27.15	8	34	1.17	73	2.52	184	6.34	116	4.00	8	0.28	1	0.03	13	0.45	
福井県	1246	38.94	13	17	0.77	92	4.18	275	12.50	61	2.77	-	-	2	0.09	12	0.55	
山梨県	453	11.33	2	2	0.08	50	2.08	86	3.58	12	0.50	-	-	-	-	3	0.13	
長野県	2072	23.82	8	14	0.26	128	2.37	295	5.46	56	1.04	3	0.06	2	0.04	17	0.31	
岐阜県	1668	19.17	7	19	0.36	48	0.91	309	5.83	19	0.36	1	0.02	-	-	18	0.34	
静岡県	2688	19.34	18	13	0.15	105	1.18	566	6.36	90	1.01	1	0.01	3	0.03	34	0.38	
愛知県	4669	23.94	36	44	0.24	286	1.58	925	5.11	93	0.51	6	0.03	1	0.01	68	0.38	
三重県	2098	29.14	5	12	0.27	57	1.27	285	6.33	39	0.87	-	-	1	0.02	19	0.42	
滋賀県	1002	18.91	7	4	0.13	65	2.03	168	5.25	34	1.06	1	0.03	1	0.03	9	0.28	
京都府	2377	19.64	9	20	0.28	98	1.36	363	5.04	37	0.51	1	0.01	1	0.01	16	0.22	
大阪府	5554	17.97	71	46	0.23	439	2.20	1302	6.51	195	0.98	11	0.06	12	0.06	66	0.33	
兵庫県	4058	20.49	22	42	0.33	143	1.12	838	6.55	137	1.07	7	0.05	9	0.07	57	0.45	
奈良県	834	15.44	10	6	0.18	21	0.62	142	4.18	25	0.74	1	0.03	3	0.09	8	0.24	
和歌山県	624	12.48	9	8	0.26	21	0.68	198	6.39	29	0.94	1	0.03	-	-	10	0.32	
鳥取県	685	23.62	1	12	0.63	49	2.58	105	5.53	20	1.05	-	-	-	-	8	0.42	
島根県	817	21.50	4	69	3.00	52	2.26	143	6.22	15	0.65	2	0.09	-	-	11	0.48	
岡山県	1492	17.76	8	39	0.72	72	1.33	464	8.59	40	0.74	1	0.02	3	0.06	15	0.28	
広島県	1507	13.10	25	52	0.72	120	1.67	584	8.11	39	0.54	-	-	1	0.01	36	0.50	
山口県	1737	25.17	47	18	0.38	138	2.88	468	9.75	27	0.56	6	0.13	1	0.02	30	0.63	
徳島県	629	16.55	8	3	0.13	21	0.91	130	5.65	22	0.96	1	0.04	2	0.09	10	0.43	
香川県	975	19.90	7	10	0.33	63	2.10	218	7.27	30	1.00	-	-	1	0.03	19	0.63	
愛媛県	1388	22.75	12	16	0.43	54	1.46	385	10.41	51	1.38	1	0.03	-	-	20	0.54	
高知県	860	17.92	7	3	0.10	21	0.70	148	4.93	39	1.30	-	-	-	-	8	0.27	
福岡県	6111	30.86	82	41	0.34	390	3.25	1121	9.34	186	1.55	53	0.44	4	0.03	101	0.84	
佐賀県	777	19.92	8	9	0.39	55	2.39	163	7.09	31	1.35	2	0.09	1	0.04	17	0.74	
長崎県	1917	27.39	19	28	0.64	78	1.77	256	5.82	70	1.59	17	0.39	-	-	16	0.36	
熊本県	1628	20.35	21	13	0.26	104	2.08	589	11.78	34	0.68	30	0.60	1	0.02	27	0.54	
大分県	1539	26.53	12	15	0.42	64	1.78	575	15.97	34	0.94	6	0.17	3	0.08	21	0.58	
宮崎県	1478	25.05	51	37	1.03	58	1.61	523	14.53	77	2.14	28	0.78	-	-	29	0.81	
鹿児島県	1419	15.26	33	62	1.13	165	3.00	736	13.38	96	1.75	15	0.27	2	0.04	25	0.45	
沖縄県	915	15.78	46	5	0.15	71	2.09	141	4.15	85	2.50	3	0.09	-	-	6	0.18	

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	28	0.01	54	0.02	748	0.24	8	0.01	303	0.44	8	0.02	9	0.02	122	0.26	10	0.02
北海道	-	-	1	0.01	15	0.10	-	-	12	0.41	-	-	-	-	7	0.30	-	-
青森県	-	-	-	-	6	0.15	-	-	1	0.09	-	-	-	-	7	1.17	-	-
岩手県	-	-	-	-	9	0.23	-	-	3	0.21	-	-	-	-	9	0.47	1	0.05
宮城県	-	-	-	-	10	0.17	-	-	2	0.17	-	-	-	-	11	0.92	1	0.08
秋田県	-	-	1	0.03	5	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.50	-	-
山形県	-	-	-	-	13	0.43	-	-	4	0.50	-	-	-	-	1	0.10	2	0.20
福島県	-	-	-	-	31	0.69	-	-	7	0.58	-	-	-	-	8	1.14	-	-
茨城県	-	-	-	-	6	0.08	1	0.06	8	0.47	-	-	-	-	1	0.08	-	-
栃木県	2	0.04	-	-	7	0.15	-	-	5	0.42	-	-	-	-	3	0.43	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	5	0.08	-	-	9	0.69	-	-	-	-	2	0.25	-	-
埼玉県	2	0.01	-	-	30	0.19	2	0.05	8	0.19	-	-	-	-	4	0.40	1	0.10
千葉県	2	0.01	-	-	48	0.36	1	0.03	23	0.68	-	-	-	-	1	0.11	-	-
東京都	3	0.01	2	0.01	29	0.11	-	-	15	0.39	2	0.08	1	0.04	5	0.20	1	0.04
神奈川県	-	-	1	0.00	44	0.21	1	0.02	29	0.64	-	-	-	-	1	0.09	-	-
新潟県	-	-	-	-	6	0.10	1	0.10	6	0.60	-	-	-	-	3	0.23	1	0.08
富山県	1	0.03	2	0.07	1	0.03	-	-	3	0.43	-	-	-	-	8	1.60	-	-
石川県	-	-	-	-	14	0.48	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	22	1.00	-	-	1	0.33	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	-	-	2	0.04	-	-	7	0.64	-	-	-	-	6	0.55	-	-
岐阜県	-	-	-	-	15	0.28	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	-	-	-	-	10	0.11	-	-	12	0.55	-	-	-	-	2	0.20	-	-
愛知県	-	-	2	0.01	75	0.41	-	-	9	0.26	1	0.07	1	0.07	5	0.36	-	-
三重県	-	-	1	0.02	5	0.11	-	-	3	0.25	-	-	-	-	3	0.33	-	-
滋賀県	-	-	5	0.16	8	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.43	-	-
京都府	-	-	-	-	1	0.01	-	-	2	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	3	0.02	15	0.08	1	0.02	10	0.19	-	-	-	-	1	0.06	-	-
兵庫県	1	0.01	1	0.01	11	0.09	-	-	11	0.31	1	0.09	-	-	1	0.09	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	4	0.12	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	-	-	3	0.75	-	-	-	-	4	0.36	1	0.09
鳥取県	1	0.05	-	-	3	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	0.04	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.40	-	-
広島県	3	0.04	1	0.01	26	0.36	-	-	11	0.58	-	-	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	10	0.21	-	-	2	0.25	-	-	-	-	1	0.11	1	0.11
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	7	0.19	-	-	16	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	-	-	56	1.87	-	-	-	-	1	0.13	-	-	4	0.50	-	-
福岡県	2	0.02	11	0.09	115	0.96	-	-	5	0.19	-	-	3	0.20	2	0.13	-	-
佐賀県	-	-	-	-	9	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50	-	-
長崎県	3	0.07	-	-	24	0.55	1	0.13	3	0.38	-	-	-	-	1	0.08	-	-
熊本県	-	-	6	0.12	6	0.12	-	-	19	2.11	-	-	1	0.07	1	0.07	-	-
大分県	-	-	6	0.17	14	0.39	-	-	1	0.20	-	-	-	-	3	0.27	-	-
宮崎県	-	-	-	-	4	0.11	-	-	10	1.67	-	-	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.02	-	-	12	0.22	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	4	0.12	1	0.03	10	0.29	-	-	12	1.20	1	0.14	1	0.14	3	0.43	-	-

\*病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年10月14日より届出対象疾患となりました。

報告数・定点当り報告数,  
疾病・都道府県別 2014年10週

	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
	報告数	定点当り
総数	80	0.17
北海道	1	0.04
青森県	1	0.17
岩手県	9	0.47
宮城県	1	0.08
秋田県	1	0.13
山形県	3	0.30
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	3	0.43
群馬県	2	0.25
埼玉県	1	0.10
千葉県	3	0.33
東京都	4	0.16
神奈川県	3	0.27
新潟県	1	0.08
富山県	-	-
石川県	1	0.20
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	1	0.09
岐阜県	-	-
静岡県	2	0.20
愛知県	2	0.14
三重県	-	-
滋賀県	5	0.71
京都府	-	-
大阪府	5	0.29
兵庫県	3	0.27
奈良県	1	0.17
和歌山県	10	0.91
鳥取県	1	0.20
島根県	1	0.13
岡山県	-	-
広島県	2	0.10
山口県	1	0.11
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	2	0.25
福岡県	2	0.13
佐賀県	1	0.17
長崎県	-	-
熊本県	6	0.40
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	1	0.08
沖縄県	-	-

報告数・疾病・都道府県別  
2014年10週

	インフルエンザ (入院患者)	
	報告数	
総数	615	
北海道	25	
青森県	11	
岩手県	47	
宮城県	27	
秋田県	12	
山形県	14	
福島県	10	
茨城県	20	
栃木県	9	
群馬県	10	
埼玉県	11	
千葉県	12	
東京都	35	
神奈川県	14	
新潟県	18	
富山県	7	
石川県	7	
福井県	16	
山梨県	5	
長野県	10	
岐阜県	7	
静岡県	12	
愛知県	30	
三重県	4	
滋賀県	19	
京都府	16	
大阪府	24	
兵庫県	16	
奈良県	4	
和歌山県	7	
鳥取県	14	
島根県	16	
岡山県	9	
広島県	13	
山口県	9	
徳島県	10	
香川県	2	
愛媛県	6	
高知県	7	
福岡県	23	
佐賀県	1	
長崎県	6	
熊本県	17	
大分県	8	
宮崎県	2	
鹿児島県	5	
沖縄県	8	

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 ) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年10週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1又はH7N9 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2014年10週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第16巻 第10号 2014年3月24日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。